

ワークショップ

第1日目11月25日(火)

1W2	第2会場(3階 301)	13:15-15:45 [J/E]
サーフェスバリア・共生と感染		
オーガナイザー：辻 典子(産総研・バイオメディカル・分子複合医薬) 太田 訓正(熊大・院生命)		
Introduction		[13:15]
辻 典子(産総研・バイオメディカル・分子複合医薬)		
1W2-1	(1P-0735)	[13:18]
乳酸菌による抗炎症のメカニズム-二本鎖RNAを免疫細胞が認識する-		
辻 典子(産総研・バイオメディカル・分子複合医薬)		
1W2-2	(1P-0736)	[13:38]
Foxp3⁺ T reg cell in Gut-Oral by Probiotic bacterium reduced alveolar bone loss in mouse model		
Ryoki Kobayashi, Tomomi Hashizume, Masafumi Yamamoto, Tomoko Ochiai (Dept. of Oral Immunol, Nihon. Univ. Sch. of Dent. at Matsudo)		
1W2-3	(1P-0737)	[13:48]
線虫で寿命延長効果を示す<i>Lactobacillus gasseri</i> SBT2055の作用因子の探索		
小島 英史 ¹ , 中川 久子 ² , 細谷 知広 ¹ , 守屋 智博 ¹ , 酒井 史彦 ¹ , 宮崎 忠昭 ² (¹ 雪印メグミルク株式会社・ミルクサイエンス研究所, ² 北海道大学・遺伝子病制御研究所)		
1W2-4	(1P-0738)	[14:03]
腸炎モデルマウスに対する腸管IgA抗体の作用機序の解明		
岡井 晋作 ¹ , 白井 文人 ¹ , 野村 慎太郎 ² , 中村 肇伸 ³ , 山本 和也 ⁴ , 西山 依里 ⁴ , 森 宙史 ⁴ , 山田 拓司 ⁴ , 黒川 顕 ⁵ , 加藤 保 ⁶ , 大野 博司 ⁶ , 新蔵 礼子 ^{1,7} (¹ 長浜バイオ・バイオ, ² 長浜バイオ・アニマルバイオ, ³ 長浜バイオ・アニマルバイオ, ⁴ 東工大・生命情報, ⁵ 東工大・地球生命研究所, ⁶ 理研・統合生命科学研究センター, ⁷ JSTさきかけ)		
1W2-5	(1P-0739)	[14:18]
Autophagy enhances NF kappa B activity in F4/80^{hi} macrophages by sequestering A20 to boost early anti-fungal immunity		
Masashi Kanayama ¹ , Makoto Inoue ¹ , Keiko Danzaki ¹ , Gianna Hammer ¹ , You-Wen He ¹ , Mari L. Shinohara ^{1,2} (¹ Dept. of Immunol, Duke Univ., ² Dept. of MGM, Duke Univ.)		
1W2-6	(1P-0740)	[14:33]
肺型クローディン18欠損マウスにおける肺胞内微小環境の破綻と肺炎		
鈴木 浩也, 田村 淳, 月田 早智子(阪大・医学・分子生体情報)		
1W2-7	(1P-0741)	[14:43]
ピロリ菌感染による胃上皮細胞リプログラミングと発がん		
畠山 昌則(東大・院医・微生物学)		
1W2-8	(1P-0742)	[15:03]
バクテリア由来物質による細胞リプログラミング		
太田 訓正(熊大・院生命)		
1W2-9	(1P-0743)	[15:23]
リプログラミングにおける細胞内代謝と核内受容体遺伝子の機能解析		
木田 泰之 ¹ , 梶筒 博子 ¹ , 川村 見久 ² (¹ 産総研・幹細胞・間葉系チーム, ² 立命館大・生命・生命医科)		
総合討論		[15:33]
太田 訓正(熊大・院生命)		

1W3	第3会場(3階302)	13:15-15:45 [J]
ケミストリーを戦略としたシグナル伝達研究		
オーガナイザー：井上 純一郎 (東大・医科研・分子発癌分野) 袖岡 幹子 ^{1,2} (¹ 理研, ² CREST-JST)		
1W3-1	(1P-0946)	[13:15]
NF-κB活性化の時空間的制御機構の解明		
井上 純一郎 (東大・医科研・分子発癌分野)		
1W3-2	(1P-0947)	[13:33]
ユビキチン修飾系を標的とする創薬		
塚本 佐知子 (熊本大院薬)		
1W3-3	(1P-0948)	[13:51]
癌およびRas/MAPK症候群におけるMEK変異体の異常活性化機構と抗癌剤抵抗性		
武川 睦寛 (東大・医科研・分子シグナル制御)		
1W3-4	(1P-0949)	[14:06]
両特異性ホスファターゼ阻害剤の開発		
袖岡 幹子 ^{1,2} (¹ 理研, ² CREST-JST)		
1W3-5	(1P-0950)	[14:24]
Phos-tag SDS-PAGE ゲルからの標的タンパク質の転写効率を改善させる秘訣		
木下 英司, 木下 恵美子, 小池 透 (広島大院・医歯薬保健学・医薬分子機能科学)		
1W3-6	(1P-0951)	[14:39]
機能性小分子による細胞機能の時空間制御		
上野 匡 ¹ , 浦野 泰照 ² , 長野 哲雄 ³ , 井上 尊生 ³ (¹ 東京大学大学院薬学系研究科, ² 東京大学大学院医学系研究科, ³ ジョンズホプキンス大医学研究科)		
1W3-7	(1P-0952)	[14:54]
低親和性ストレプトアビジン結合分子の開発と、タンパク質局在制御への応用		
寺井 琢也 ¹ , 河野 萌 ¹ , Franck Perez ² , 浦野 泰照 ³ , 長野 哲雄 ⁴ (¹ 東大・院薬, ² Institut Curie, ³ 東大・院医, ⁴ 東大・創薬オープンイノベーションセ)		
1W3-8	(1P-0953)	[15:09]
炎症応答に関わる因子とその機能をモデュレートする化合物の構造生物学		
石谷 隆一郎 (東大・院理・生物科学)		
1W3-9	(1P-0954)	[15:24]
コムギ無細胞技術を基盤とした化合物スクリーニング		
澤崎 達也 (愛媛大・PROS)		
Conclusion		
井上 純一郎 (東大・医科研・分子発癌分野)		
1W4	第4会場(3階303)	13:15-15:45 [J]
生命の起源・進化・本質		
オーガナイザー：横堀 伸一 (東京薬科大学) 別所 義隆 (理化学研究所)		
コーディネーター：田村 浩二 (東京理科大学) 大島 泰郎 (共和化工株式会社)		
Introduction		
別所 義隆 (理化学研究所)		
1W4-1	(1P-0115)	[13:20]
脱窒と好気呼吸に関する進化的考察		
福森 義宏 (金沢大学理工研究域)		

1W4-2 (1P-0116)	[13:40]
独立栄養的炭酸固定代謝から古(いにしえ)の代謝を紐解く	
石井 正治, 新井 博之(東京大学大学院農学生命科学研究科)	
1W4-3 (1P-0117)	[14:00]
超好熱菌の原始的中央代謝経路にみられるいくつかの興味深い酵素	
若木 高善(東大・院農生科・応生工)	
1W4-4 (1P-0118)	[14:20]
様々な培養条件における <i>Euglena gracilis</i> の網羅的遺伝子発現解析	
吉田 勇太 ^{1,2} , 荒川 和晴 ² , 富山 拓矢 ⁴ , 富田 勝 ^{2,3} , 石川 孝博 ⁵ (¹ 慶大・院・政策・メディア, ² 慶大・先端生命研, ³ 慶大・環境情報, ⁴ 島根大・生物資源科学研究科, ⁵ 島根大・生物資源科学)	
1W4-5 (1P-0119)	[14:30]
8-oxoguanineに起因して新たに生じた生殖細胞突然変異の解析	
作見 邦彦 ^{1,2} , 大野 みずき ³ , 福村 龍太郎 ⁴ , 権藤 洋一 ⁴ , 岩崎 裕貴 ⁵ , 池村 淑道 ⁵ , 續 輝久 ³ , 中別府 雄作 ^{1,2} (¹ 九大・生医研・脳機能制御学, ² 九大・ヌクレオチドプール研究センター, ³ 九大・院医・基礎放射線医学, ⁴ 理研・バイオリソースセンター・新規変異マウス研究開発チーム, ⁵ 長浜バイオ大学)	
1W4-6 (1P-0120)	[14:40]
イントロンの起源をどう考えるかー発見から現在までー	
郷 通子 ^{1,2} , 塩生 真史 ² , 由良 敬 ³ (¹ 情報・システム研究機構・本部, ² 長浜バイオ大, バイオサイエンス学部, ³ お茶大・院・人間文化創成科学研究科)	
1W4-7 (1P-0121)	[15:00]
ゲノム重複の起源とその進化上の影響	
斎藤 成也(遺伝研・集団遺伝)	
1W4-8 (1P-0122)	[15:20]
意識の現象学的性質の起源	
茂木 健一郎(ソニーCSL)	
Conclusion	[15:40]
横堀 伸一(東京薬科大学)	
1W5 第5会場(3階304)	13:15-15:45 [J/E]
TORシグナリング：メカニズムと生理	
オーガナイザー：丑丸 敬史(静岡大学理学部) 前田 達哉(東大・分生研)	
Introduction	[13:15]
丑丸 敬史(静岡大学理学部)	
1W5-1 (1P-0460)	[13:20]
酵母トア複合体1 (TORC1) の窒素源栄養感知メカニズム解明の挑戦	
鎌田 芳彰(基礎生物学研究所・総研大)	
1W5-2 (1P-0461)	[13:35]
The vacuole/lysosome is required for cell-cycle progression	
Yui Jin, Lois Weisman (Life Sciences Institute, Univ. of Michigan)	
1W5-3 (1P-0462)	[13:50]
酵母TORC1のアミノ酸応答性	
前田 達哉, 谷川(堀江) 美頼, 陳 佳文(東大・分生研)	
1W5-4 (1P-0463)	[14:05]
変成タンパク質ストレスによるTORC1およびオートファジーへの影響	
須田 一毅, 丑丸 敬史(静岡大学理学部)	

1W5-5 (IP-0464) [14:20]
TORキナーゼ複合体2 (TORC2)の環境応答制御とその生理的意義

建部 恒, 秦野 智行, 森ヶ崎 進, 江森 翠, 塩崎 一裕 (奈良先端・バイオ)

1W5-6 (IP-0465) [15:35]
線虫の寿命におけるTORシグナルとD-アミノ酸

 齋藤 康昭¹, 奥津 茉莉¹, 中野 俊哉¹, 宮本 哲也¹, 関根 正恵¹, 片根 真澄¹, 坂本 太郎², 今井 浩孝², 新井 洋由³, 本間 浩¹ (北里大・薬・生体分子解析学, ²北里大・薬・衛生化学, ³東大院・薬・衛生化学)

1W5-7 (IP-0466) [15:50]
Function and molecular architecture of the lysosomal mTORC1 anchor: Ragulator

 Masato Okada¹, Ayaka Kitamura¹, Shunsuke Mori¹, Shigeyuki Nada¹, Hirokazu Nakatsumi², Keiichi I. Nakayama¹ (¹Oncogene Res., RIMD, Osaka Univ., ²Dept. Mol. Cell. Biol., Med. Inst. Bioregulation, Kyushu Univ.)

1W5-8 (IP-0467) [15:05]
mTORC1依存的に脱リン酸化する転写因子FOXK2の解析

 松本 結香¹, 中津海 洋一¹, 松本 雅記², 中山 敬一¹ (九大・生医研・分子医科学, ²九大・生医研・プロテオミクス)

1W5-9 (IP-0468) [15:20]
新規がん抑制遺伝子産物TRB3はκB-RasのSUMO化を介してRas(G12V)の発がんシグナルを制御する

 多胡 憲治¹, 多胡 めぐみ², 杉山 直幸³, 伊東 広⁴, 柳澤 健¹ (¹自治医大・生化学, ²慶應大・薬, ³京大・薬院, ⁴奈良先端大・バイオ)

総合討論 [15:35]
1W6 第6会場(3階311+312) 13:15-15:45 [J/E]
神経系の機能とその破綻

 オーガナイザー：星野 幹雄 (国立神経セ)
 深田 優子 (生理研・生体膜)

1W6-1 (IP-0675) [13:15]
てんかん原因遺伝子LG11の先天的および後天的分子異常による脳機能障害

深田 優子, 横井 紀彦, 深田 正紀 (生理研・生体膜)

1W6-2 (IP-0676) [13:35]
脳ゲノム解析と精神疾患

 岩本 和也¹, 文東 美紀¹, 加藤 忠史^{1,2} (¹東大・院医・分子精神医学, ²理研脳セ・精神疾患動態)

1W6-3 (IP-0677) [13:55]
ドーパミン制御によるBDNF-TrkBシグナル調節機構

白根 道子, 中山 敬一 (九大・生医研・分子医科学)

1W6-4 (IP-0678) [14:10]
Motion sensitive circuits in the retina

 Keisuke Yonehara¹, Karl Farrow¹, Alexander Ghanem², Daniel Hillier¹, Kamill Balint¹, Miguel Teixeira¹, Josephine Juettner¹, Masaharu Noda³, Rachael L. Neve⁴, Karl-Klaus Conzelmann², Botond Roska¹ (¹Neural Circuit Laboratories, Friedrich Miescher Institute for Biomedical Research, ²Max von Pettenkofer-Institute & Gene Center, Ludwig-Maximilians-University, ³Division of Molecular Neurobiology, National Institute for Basic Biology, ⁴Viral Gene Transfer Core, Massachusetts Institute of Technology)

1W6-5 (IP-0679) [14:25]
超解像顕微鏡によって視覚化されたシナプス前終末におけるカルシウムチャンネルの空間配置

金原 直也, 坂本 寛和, 並木 繁行, 廣瀬 謙造 (東大・院医・神経生物)

1W6-6 (IP-0680) [14:40]
Transcription factor Npas4 regulates the sensory experience-dependent development of dendritic spines in newborn olfactory bulb interneurons

 Sei-ichi Yoshihara¹, Hiroo Takahashi¹, Nobushiro Nishimura¹, Masahito Kinoshita¹, Ryo Asahina¹, Yoko Furukawa-Hibi², Taku Nagai², Kiyofumi Yamada², Akio Tsuboi¹ (¹Lab. for Molecular Biology of Neural System, Advanced Medical Research Center, Nara Medical Univ., ²Dep. of Neuropsychopharmacology and Hospital Pharmacy, Nagoya Univ. Grad. Sch. of Med.)

1W6-7 (IP-0681)	[14:55]
MTCL1, a novel microtubule cross-linking protein, is essential to define the slender morphology of the axon initial segment of cerebellar Purkinje cells	
Tomoko Satake ¹ , Sandy Chen ¹ , Erio Miura ² , Yukari H Takeo-Hayashi ² , Michisuke Yuzaki ² , Atsushi Suzuki ¹ (¹ Dept. of Med. Life Sci., Grad. Sch. of Med. Life Sci., Yokohama City Univ., ² Dept. of Physiol., Sch. of Med., Keio Univ.)	
1W6-8 (IP-0682)	[15:10]
大脳皮質形成期においてHbp1は細胞周期進行の制御を介してニューロン分化のタイミングを制御する	
渡邊 直希 ^{1,2} , 大塚 俊之 ¹ , 影山 龍一郎 ¹ (¹ 京大・ウイルス研, ² 京大・院医)	
1W6-9 (IP-0683)	[15:25]
イハラてんかんラットの解析	
早瀬 ヨネ子 ¹ , 田谷 真一郎 ¹ , 山田 真弓 ^{1,5} , 初山 俊彦 ² , 三浦 義記 ³ , 林 研 ⁴ , 滝沢 明子 ⁵ , 今奥 琢士 ⁶ , 西條 琢真 ² , 増山 典久 ¹ , 水澤 精徳 ⁵ , 柳川 右千夫 ⁷ , 真下 知士 ⁵ , 伊原 信夫 ⁸ , 関根 章博 ⁵ , 大野 行弘 ⁶ , 芹川 忠夫 ⁹ , 鍋島 陽一 ⁹ , 天野 殖 ³ , 星野 幹雄 ¹ (¹ 国立神経セ, ² 慈恵医大, ³ KAC, ⁴ 千原眼科, ⁵ 京大, ⁶ 大阪薬大, ⁷ 群大, ⁸ ICR研, ⁹ 先端医財団)	
1W7 第7会場(3階 313+314)	13:15-15:45 [J]
原生生物〜モデル生物としての大いなる可能性を探る〜	
オーガナイザー: 福田 康弘 (東北大学) 岩本 政明 (情報通信研究機構・未来ICT研)	
Introduction	[13:15]
沼田 治 (筑波大・生命環境)	
1W7-1 (IP-0986)	[13:20]
繊毛虫テトラヒメナ・ミオシンのユニークな性状と機能	
沼田 治 (筑波大・生命環境)	
1W7-2 (IP-0987)	[13:37]
中心子構築機構研究におけるクラミドモナスの有用性	
廣野 雅文 (東大・院理・生物科学)	
1W7-3 (IP-0988)	[13:57]
繊毛虫の大核と小核を分ける核膜孔複合体の構造と機能	
岩本 政明 ¹ , 荒神 尚子 ¹ , 小坂田 裕子 ¹ , 森 知栄 ¹ , 平岡 泰 ^{1,2} , 原口 徳子 ^{1,2} (¹ 情報通信研究機構・未来ICT研, ² 阪大・院・生命機能)	
1W7-4 (IP-0989)	[14:17]
The Tetrahymena Hsp90 co-chaperone Coi12p promotes siRNA loading by ATP-dependent and ATP-independent mechanisms	
Kazufumi Mochizuki (Institute of Molecular Biotechnology of the Austrian Academy of Sciences (IMBA))	
1W7-5 (IP-0990)	[13:47]
Molecular mechanism of induction of sexual reproduction in the ciliates	
杉浦 真由美 (奈良女子大・研究院・自然科学)	
1W7-6 (IP-0991)	[14:54]
トランスクリプトーム解析とプロテオーム解析によるミドリゾウムシの単離共生藻胞膜に存在するタンパク質の同定	
洲崎 敏伸, 早川 昌志, 横本 純 (神戸大・院理・生物)	
1W7-7 (IP-0992)	[15:11]
Nucleomorph genome evolution as a model system of genome reduction in endosymbiosis	
鈴木 重勝, 石田 健一郎 (筑波大・院・生命環境)	
1W7-8 (IP-0993)	[15:28]
マラリア原虫が産生する植物ホルモンと脳マラリア重症化: マウスマラリア原虫をモデルとした研究例	
松原 立真 ^{1,2} , 小嶋 美紀子 ³ , 榊原 均 ³ , 永宗 喜三郎 ^{1,4} (¹ 国立感染研・寄生動物, ² 筑波大・院生命環境科学, ³ 理研・環境資源科学, ⁴ 筑波大・生命環境)	

1W8	第8会場(3階 315)	13:15-15:45 [J]
タンパク質合成装置リボソームをハブとする遺伝子発現制御機構の新展開		
オーガナイザー：稲田 利文(東北大・院薬・遺伝子制御) 山下 暁朗(横浜市大・医・分子細胞生物)		
Introduction		[13:15]
稲田 利文(東北大・院薬・遺伝子制御)		
1W8-1	(1P-0305)	[13:20]
翻訳伸長複合体の運命決定機構		
稲田 利文(東北大・院薬・遺伝子制御)		
1W8-2	(1P-0306)	[13:40]
tRNAに着目した新規な翻訳解析技術の開発と応用		
田中 元雅, Chien-Wen Chen (理研・脳セ)		
1W8-3	(1P-0307)	[13:58]
選択的な翻訳制御と疾患：ゼブラフィッシュを用いたリボソーム病発症機構の解明		
上地 珠代 ¹ , 中島 由香里 ¹ , Gnaneshwar Yadav ¹ , 吉浜 麻生 ¹ , 鈴木 稔 ² , 菅野 純夫 ² , 剣持 直哉 ¹ (¹ 宮崎大・フロンティア, ² 東大・新領域)		
1W8-4	(1P-0308)	[14:13]
神経樹状突起mRNA輸送・局所的翻訳と記憶形成		
椎名 伸之 ^{1,2} (¹ 岡崎統合バイオ(基生研)・神経細胞生物, ² 総研大)		
1W8-5	(1P-0309)	[14:31]
microRNAは標的mRNAから翻訳開始因子eIF4A1およびeIF4AIIを解離させる		
深尾 亜喜良, 藤原 俊伸(名古屋市立大学大学院薬学研究所)		
1W8-6	(1P-0310)	[14:46]
PABPアイソフォームによる翻訳制御の解析		
柳谷 朗子, Nahum Sonenberg (マギル大学・生化学)		
1W8-7	(1P-0311)	[14:56]
Regnase-1は翻訳に依存して炎症関連mRNAを分解する		
三野 享史 ¹ , 深尾 亜喜良 ² , 藤原 俊伸 ² , 竹内 理 ¹ (¹ 京大・ウイルス研・感染防御, ² 名市大・薬学・衛生科学)		
1W8-8	(1P-0312)	[15:16]
異常終止コドン依存的mRNA分解機構におけるSMG-1とUPF1の活性制御機構		
山下 暁朗 ¹ , 内山 晃子 ¹ , 黒澤 瞳 ¹ , 中村 良恵 ¹ , 青柳 杏子 ¹ , 片岡 直行 ² , 大野 茂男 ¹ (¹ 横浜市大・医・分子細胞生物, ² 京大・メディカルイノベーションセンター)		
1W8-9	(1P-0313)	[15:31]
リボソームタンパク質L10AはmRNA前駆体の選択的スプライシングにより遺伝子発現を自己制御する		
武井 理美, 黒柳 秀人(医科歯科大・難研)		
Conclusion		[15:41]
山下 暁朗(横浜市大・医・分子細胞生物)		
1W9	第9会場(4階 411+412)	13:15-15:45 [J]
ゲノムダイナミクスとゲノムホメオスタシスの分子機構		
オーガナイザー：太田 邦史(東大院・総合文化・広域科学) 篠原 美紀(大阪大学・蛋白研)		
Introduction		[13:15]
太田 邦史(東大院・総合文化・広域科学)		

1W9-1 (1P-0155)	[13:18]
マウス精巢特異的な発現を示すヒストンバリエントH3mmTを含むヌクレオソームの構造解析および生化学的解析	
浦浜 嵩 ¹ , 堀越 直樹 ¹ , 田口 裕之 ¹ , 鈴木 佑弥 ¹ , 越阪部 晃永 ¹ , 木村 宏 ² , 大川 恭行 ³ , 胡桃坂 仁志 ¹ (¹ 早大・院・先進理工/理工研, ² 阪大・院・生命機能, ³ 九大・医学研究院・先端医療医学部門)	
1W9-2 (1P-0156)	[13:36]
染色体高次構造による組換えの開始制御	
伊藤 将 ¹ , 久郷 和人 ¹ , Fawcett Jeffrey ² , 村 幸子 ¹ , 池田 晶 ¹ , 印南 秀樹 ² , 太田 邦史 ¹ (¹ 東大院・総合文化・広域科学, ² 総研大・先端科学・生命共生体進化学)	
1W9-3 (1P-0157)	[13:54]
多重ヌクレエース複合体によるゲノム安定性の維持	
齋藤 貴宗 ^{1,2} , Monica Colaiacovo ² , 千葉 奈津子 ¹ (¹ 東北大学 加齢医学研究所, ² ハーバード大学医学部遺伝学部門)	
1W9-4 (1P-0158)	[14:12]
姉妹染色分体分離過程の可視化から見たProphaseの重要性	
長坂 浩太 ^{1,2} , Julius Hossain ³ , Jan Ellenberg ³ , 広田 亨 ² (¹ 東工大・生命理工・生体システム専攻, ² がん研究会がん研究所, ³ 欧州分子生物学研究所)	
1W9-5 (1P-0159)	[14:30]
SUMO化タンパク質を認識するRING型ユビキチンリガーゼRNF4による、スピンドルアセンブリチェックポイント(SAC)活性維持と染色体ロスの防止	
廣田 耕志 ^{1,2} , 高木 季代 ¹ , 津田 雅貴 ² , 村井 純子 ² , Keka Islam ² , 成田 岳雄 ² , 藤田 真梨 ² , 笹沼 博之 ² , 小林 純也 ² , 武田 俊一 ² (¹ 首都大学東京・理工・化学, ² 京大・医)	
1W9-6 (1P-0160)	[14:48]
分裂酵母セントロメアにおける相同組換えの制御機構	
大仲 惇司, 片平 泰弘, 沖田 暁子, 浅井 麗伊, 高橋 達郎, 升方 久夫, 中川 拓郎 (阪大・院理・生物科学)	
1W9-7 (1P-0161)	[15:06]
相同組換え修復と損傷乗り越えDNA合成におけるNBS1蛋白の役割	
小松 賢志 ¹ , 加藤 晃弘 ¹ , 柳原 啓見 ² , 斎藤 裕一朗 ¹ , Hui Zhou ³ , 小林 純也 ¹ (¹ 京大・放生研・ゲノム, ² 広島大・原医研・放射線ゲノム, ³ 京大・院理・生物科学)	
1W9-8 (1P-0162)	[15:24]
非同相末端結合因子XRCC4のM期特異的リン酸化はDNA損傷修復抑制を介してゲノム安定性保持に寄与する	
寺澤 匡博, 篠原 美紀 (大阪大学・蛋白質研)	
Conclusion	[15:42]
篠原 美紀 (大阪大学・蛋白質研)	

1W10 第10会場(4階413) 13:15-15:45 [J/E]

機能性RNA分子研究の新展開

オーガナイザー：武藤 裕 (武蔵野大・薬)
牛田 千里 (弘前大・農学生命科学・分子生命科学)

Introduction **[13:15]**

武藤 裕 (武蔵野大・薬)

1W10-1 (1P-0275) **[13:18]**

特異的アミノアシルtRNA合成と遺伝暗号拡張の構造基盤
横山 茂之 (理研・構造生物学)

1W10-2 (1P-0276) **[13:38]**

Cas9-ガイド鎖RNA-標的DNAの結晶構造
西増 弘志^{1,2}, 石谷 隆一郎¹, 瀧木 理¹ (¹東大・院理・生物科学, ²JST・さきがけ)

1W10-3 (1P-0277) **[13:58]**

マウス細胞内で発現している低分子RNAとその構造解析
清澤 秀孔¹, 奥居 沙弥², 牛田 千里³, 河合 剛太² (¹高知大・医・環境医学, ²千葉工大・工・生命環境科学, ³弘前大・農学生命科学・分子生命科学)

1W10-4 (1P-0278)

[14:18]

ゼブラフィッシュ初期発生におけるRNA修飾の役割

剣持 直哉 (宮崎大・フロンティア)

1W10-5 (1P-0279)

[14:38]

新生RNAによるRNAポリメラーゼの構造変化と機能との相関関根 俊^{1,2,3}, 村山 祐子^{1,2,3}, Vladimir Svetlov⁴, Evgeny Nudler⁴, 横山 茂之^{1,2,5} (¹理研SSBC, ²東大・院理・生化, ³理研CLST, ⁴ニューヨーク大, ⁵理研構造生物学研)

1W10-6 (1P-0280)

[14:51]

選択的スプライシング制御因子RFXFOXとSUP-12による協働的なRNA認識の構造生物学的研究桑迫 香奈子^{1,2,3}, 高橋 真梨^{1,2}, 雲財 悟¹, 津田 健吾^{1,2}, 吉川 征子¹, 何 虎発¹, 小林 直宏¹, Peter Gunter^{3,6}, 白水 美香子^{1,2}, 伊藤 拓宏^{1,2}, 田中 昭子^{1,2}, 横山 茂之^{1,7}, 萩原 正敏^{8,9}, 黒柳 秀人^{8,10}, 武藤 裕^{1,2,3} (¹理研SSBC, ²理研CLST, ³武蔵野大・薬, ⁴横浜市大・院生命ナノシステム, ⁵理研GSC, ⁶フランクフルト大, ⁷理研・構造生物, ⁸医科歯科大・院疾患生命科学, ⁹京大・院医, ¹⁰医科歯科大・難治研)

1W10-7 (1P-0281)

[15:04]

CCND7転写抑制とテロメア短縮をもたらすTLS/FUSによる非コードRNAとDNA認識機構のNMR法による解明近藤 敬子¹, 真嶋 司¹, 山置 佑大^{1,4}, 大吉 崇文², 黒川 理樹³, 永田 崇^{1,4}, 片平 正人^{1,4} (¹京大・エネルギー理工学研究, ²静大・理, ³埼玉医大・ゲノム医学研究センター, ⁴京大・エネルギー科学研究科)

1W10-8 (1P-0282)

[15:17]

Roles of noncoding RNAs in DNA damage responsesQuan Hoang Nguyen¹, Sofia Francia², Fabrizio d'Adda di Fagnano², Piero Carninci¹ (¹Division of Genomic Technologies, RIKEN Center for Life Science Technologies, ²Istituto Firc di Oncologia Molecolare IFOM Foundation Fondazione Italiana per la Ricerca sul Cancro FIRC Institute of Molecular Oncology Foundation)

1W10-9 (1P-0283)

[15:30]

ゲノムワイドなCLOCKの標的探索により明らかにされたリズム的な転写後制御の重要性寺嶋 秀騎¹, 吉種 光¹, 尾崎 遥¹, 鈴木 穰², 榛葉 繁紀³, 岩崎 渉¹, 深田 吉孝¹ (¹東大・院理・生物科学, ²東大・新領域・メディアカルゲノム, ³日大・薬・健康衛生学)**Conclusion**

[15:43]

牛田 千里 (弘前大・農学生命科学・分子生命科学)

1W11 第11会場(4階414+415)

13:15-15:45 [E]

Mechanisms of life woven from supramolecular networks

Organizers : Yuko Mimori-Kiyosue (RIKEN CDB)

Naoki Watanabe (Grad. Sch. Life Sci., Tohoku Univ.)

Introduction

[13:15]

Yuko Mimori-Kiyosue (RIKEN CDB)

1W11-1 (1P-0410)

[13:15]

Three-dimensional microstructural visualization of mitosis using Focused Ion Beam-Scanning Electron Microscope (FIB-SEM) with nanoscale resolution at whole cell levelRina Nagai¹, Keisuke Ohta^{1,2}, Takako M. Ichinose¹, Atsuko H. Iwane^{1,3} (¹Cell Field Struct. QBic, Riken, ²Anatomy, Med., Kurume Univ., ³Spec. Res. Promot. Group, Grad. Sch. Fronti., Biosci., Osaka Univ.)

1W11-2 (1P-0411)

[13:27]

 γ -tubulin2 exhibit lower microtubule dynamics than γ -tubulin1 and is insufficient to form bipolar spindleTsubasa Ohashi^{1,2,3}, Tadashi Yamamoto⁴, Yuji Yamanashi², Miho Ohsugi¹ (¹Dept. of Life Sci., Grad. Sch. of Arts and Sci., Univ. of Tokyo, ²Dev. of Gen., Inst. of Med. Sci., Univ. of Tokyo, ³JSPS Research Fellow, ⁴Cell Signal Unit, Okinawa Inst. of Sci. Tech. Grad. Univ.)

1W11-3 (1P-0412)

[13:39]

Caveolin-1 guides an intrinsic code for spindle orientation to external cuesShigeru Matsumura¹, Seiichi Uchida⁴, Akatsuki Kimura³, Tomoko Kojidani², Tokuko Haraguchi², Yuji Kamioka⁵, Fumiko Toyoshima¹ (¹Subcell. Biogen., IVR, Kyoto Univ., ²Adv. ICT Res. Inst. NICT, ³Cell Arch., NIG, ⁴Dept. Adv. Info. Tech., Kyushu Univ., ⁵Bioimag. Cell Sign., Grad. Sch. Biostudies, Kyoto Univ.)

1W11-4 (1P-0413)	[13:51]
Theoretical analysis and mathematical super-resolution microscopy reveal constriction and flattening of caveolae upon tension	
Masashi Tachikawa ¹ , Nobuhiro Morone ² , Shiro Suetsugu ³ (¹ RIKEN, ² iCeMS, Kyoto Univ., ³ Grad Sch Biosciences, NAIST)	
1W11-5 (1P-0414)	[14:09]
Filamin acts as a key regulator in epithelial defense against transformed cells	
Mihoko Kajita, Yasuyuki Fujita (Molecular Oncology, IGM, Univ. of Hokkaido)	
1W11-6 (1P-0415)	[14:21]
Centriolar Albatross contributes to duplication of centrioles	
Akihito Inoko ¹ , Yuko Hayashi ¹ , Masaki Inagaki ² (¹ Div. Biochem., Aichi Cancer Ctr. Res. Inst., ² Dept. Cell. Oncol., Nagoya Univ. Grad. Sch. Med.)	
1W11-7 (1P-0416)	[14:33]
Identification of novel microtubule-associated proteins that regulate the Wnt/planar cell polarity signaling pathway	
Koji Kikuchi, Hiroyuki Nakanishi (Dept. Mol. Pharm. Grad. Sch. of Med. Sci., Kumamoto Univ.)	
1W11-8 (1P-0417)	[14:45]
The arf-like GTPase ARL-8 unfolds the autoinhibition of the motor protein UNC-104/KIF1A and regulates the distribution of synaptic vesicles	
Shinsuke Niva ¹ , Manatsu Morikawa ² , Nobutaka Hirokawa ² , Kang Shen ¹ (¹ Dept. of Biol., Stanford Univ., ² Dept. Anatomy and Cell Biol., Sch. of Med. Univ. of Tokyo)	
1W11-9 (1P-0418)	[14:57]
Identification and functional analysis of Rho-GEFs involved in cyclic stretch-induced cell orientation of vascular endothelial cells	
Toshiya Mashiko ¹ , Sachiko Fujiwara ¹ , Hiroshi Kondo ¹ , Hiyori Abiko ¹ , Masaaki Sato ² , Kazumasa Ohashi ¹ , Kensaku Mizuno ¹ (¹ Grad. Sch. Life. Sci., Tohoku Univ., ² Inst. Interdiscip. Sci., Tohoku Univ.)	
1W11-10 (1P-0419)	[15:09]
Septins control contractile forces during collective cell movement	
Asako Shindo ^{1,2} , John Wallingford ² (¹ Grad. Sch. of Sci., Univ. of Nagoya, ² Dept. of MBS, Univ. of Texas at Austin)	
1W11-11 (1P-0420)	[15:27]
Symmetry breaking in mouse development	
Takashi Hiiragi (Dev Biol unit, EMBL)	
Conclusion	[15:45]
Naoki Watanabe (Grad. Sch. Life. Sci., Tohoku Univ.)	
1W12 第12会場(4階 416+417)	13:15-15:45 [J]
周期的再生における幹細胞とその環境	
オーガナイザー：岩淵 徳郎 (東京工科大学応用生物学部) 松崎 貴 (島根大学生物資源学部)	
Introduction	[13:15]
岩淵 徳郎 (東京工科大学応用生物学部)	
1W12-1 (1P-0590)	[13:16]
表皮幹細胞が間充細胞に動的・静的環境を提供する仕組み	
藤原 裕展 (理研CDB)	
1W12-2 (1P-0591)	[13:41]
Distal nail matrix cells are required for nail stem cell differentiation and maintenance of underlying digit bone	
武尾 真, 伊藤 真由美 (ニューヨーク大・医・皮膚科)	

1W12-3 (1P-0592) [14:06]

細菌由来c-di-GMPはSTING依存的に造血幹細胞とニッチの変容を促す
小林 央^{1,2}, 田久保 圭誉^{1,2}, 須田 年生¹ (¹慶應・医学部, ²国立国際医療研究センター)

1W12-4 (1P-0593) [14:24]

分化誘導条件下におけるES細胞の静止状態獲得機構の解析
池田 愛^{1,2}, 豊島 文子^{1,2} (¹京大・生命・高次, ²京大・ウイ研)

1W12-5 (1P-0594) [14:42]

TsukushiはTGF-betaシグナルを制御しながら毛周期を調節する
新森 大佑^{1,2}, 河野 理恵¹, フェルムバン アザリ¹, 新森(喜多) 加納子³, 尹 浩信², 太田 訓正¹ (¹熊本大学大学院生命科学研究部神経分子化学分野, ²熊本大学大学院生命科学研究部皮膚病態治療再建学分野, ³熊本大学大学院生命科学研究部機能病理学分野)

1W12-6 (1P-0595) [15:07]

成体毛包幹細胞より再生した多色蛍光毛包を用いた細胞動態解析
豊島 公栄^{1,2,3}, 浅川 杏祐^{2,4}, 手塚 克成^{2,3}, 山口 恭平³, 辻 孝^{2,3,5} (¹北里大学 医学部 再生医療形成外科学寄附講座, ²独) 理学研究所 発生・再生科学総合研究センター・器官誘導グループ, ³(株) オーガンテクノロジーズ, ⁴(独) 日本学術振興会・特別研究員, ⁵東京理科大学 基礎工学研究科 生物工学専攻)

1W12-7 (1P-0596) [15:25]

マウス精巢におけるNotchシグナル伝達系の発現解析
岡田 龍, 市川 郁里, 仁科 行雄 (横浜市大・生命ナノ・ゲノム科学)

Conclusion [15:43]

松崎 貴 (島根大学生物資源学部)

1W13 第13会場(4階418) 13:15-15:45 [J/E]

初期発生を制御する分子・細胞ダイナミクス

オーガナイザー：佐々木 洋 (熊大・発生研・分化制御)
藤森 俊彦 (基生研・初期発生)

Introduction [13:15]

藤森 俊彦 (基生研・初期発生)

1W13-1 (1P-0542) [13:17]

NDST1はXenopus初期胚でのヘパラン硫酸ナノ構造の修飾と内在性Wnt蛋白質の適切な分布に必要なものである
三井 優輔¹, 山元 孝佳², 平良 真規², 高田 慎治¹ (¹基生研, ²東大・院理・生物科学)

1W13-2 (1P-0543) [13:37]

内胚葉系列の分化を担う発生準備エンハンサーの形成メカニズムの解析
今井 紗綾¹, 桐ヶ谷 嘉章¹, 安岡 有理¹, 鈴木 穰², 高橋 秀治³, 浅島 誠⁴, 菅野 純夫⁵, 平良 真規¹ (¹東大・院理・生物科学, ²東大・新領域・メディカルゲノム, ³広大・両生類研, ⁴産総研・幹細胞工学研究セ)

1W13-3 (1P-0544) [13:52]

Dynamic changes in a gene regulatory network during the early stages of embryogenesis, as determined by efficient ChIP-seq analysis

Hisato Kondoh^{1,2}, Kazunari Matsuda², Tomoya Mikami², Munazah Andrabi^{2,4}, Shinya Oki³, Katsushi Yamaguchi⁵, Shuji Shigenobu³ (¹Kyoto SU, Fac. Life Sci., ²Osaka U, Grad.FBS, ³Kyushu U, Fac. Med. Sci., ⁴RIKEN, CDB, ⁵NIBB, Func. Genomics)

1W13-4 (1P-0545) [14:07]

Iroquois3/5 regulate chromatin segregation during early limb bud morphogenesis

Hiroataka Tao¹, Jean-Philippe Lambert², Danyi Li^{1,3}, Kimberly Lau¹, Vijitha Puvindran¹, Jun Wen⁴, Michael D. Wong⁵, Xiao Xiao Chen³, R. Mark Henkelman⁵, Yu Sun¹, Yasuhiko Kawakami^{6,7}, Anne-Claude Gingras^{2,3}, Chi-chung Hui^{1,2}, Sevan Hopyan^{1,3,8} (¹Program in Dev. and Stem Cell Biol., Hospital for Sick Children, ²Lunenfeld-Tanenbaum Research Institute, Mount Sinai Hospital, ³Depart. of Mol. Genet., Univ. of Toronto, ⁴Institute of Biomaterials and Biomedical Engineering, Univ. of Toronto, ⁵Mouse Imaging Centre, Hospital for Sick Children, ⁶Stem Cell Institute, Univ. of Minnesota, ⁷Dev. Biol. Center, Univ. of Minnesota, ⁸Div. of Orthopaedic Surgery, Hospital for Sick Children and Univ. of Toronto)

1W13-5 (1P-0546)	[14:22]
Blood flow and vascular remodeling: in vivo live-imaging analyses of individual endothelial cells	
Yuta Takase, Yoshiko Takahashi (Dept. of Zoology, Grad. Sch. of Sci. Kyoto Univ.)	
1W13-6 (1P-0547)	[14:37]
NFκBファミリーの転写因子c-RelはAdmpの発現制御を介して脊椎動物初期胚の背腹軸形成を制御する	
穴井 諭 ¹ , 太田 聡 ² , 石谷 太 ¹ (¹ 九大・生医研・細胞統御, ² 山梨大・医工学・発生生物)	
1W13-7 (1P-0548)	[14:52]
マウス胚脊索形態形成の胚体外組織による力学的制御	
佐々木 洋 ¹ , 岡牟田 雄 ¹ , 小山 宏史 ² , 石 東博 ² , 永樂 元次 ³ , 藤森 俊彦 ² (¹ 熊大・発生研・分化制御, ² 基生研・初期発生, ³ 4次元組織解析・理研CDB)	
1W13-8 (1P-0549)	[15:07]
コンフルエントな細胞における収縮力分布の可視化	
出口 真次, 横山 奨, 松井 翼 (名古屋工業大学)	
1W13-9 (1P-0550)	[15:22]
マウス胚の前後軸形成における胚と母体子宮組織間の力学的相互作用	
平松 竜司 ¹ , 木村-吉田 千春 ² , 松尾 勲 ² (¹ 感染研・血液安全, ² 大阪母子センター・病因病態)	
Conclusion	[15:42]
佐々木 洋 (熊大・発生研・分化制御)	
<hr/>	
1W14 第14会場(4階 419)	13:15-15:45 [J]
卵抽出液・無細胞系ならでできる、こんなこと	
オーガナイザー：持田 悟 (熊本大学) 新富 圭史 (理化学研究所)	
Introduction	[13:15]
新富 圭史 (理化学研究所)	
1W14-1 (1P-0531)	[13:20]
Examining the micromechanical properties of the vertebrate metaphase spindle	
島本 勇太 (国立遺伝学研究所)	
1W14-2 (1P-0532)	[13:40]
マイクロ流体デバイスと卵抽出液・無細胞系の組み合わせによる細胞核サイズ制御の解析	
原 裕貴, Christoph A. Merten (欧州分子生物学研究所(EMBL))	
1W14-3 (1P-0533)	[14:00]
マウス卵抽出液を用いたマウス精子クロマチンのリモデリング	
井上 玄志 ^{1,2} , 橋本 幸藏 ¹ , 大杉 美穂 ² (¹ Tak-circulator (株), ² 東大・総合文化・広域科学)	
1W14-4 (1P-0534)	[14:15]
モデル実験系による核酸に対する細胞内分子クラウディング効果の解明	
中野 修一 ¹ , 山口 大輔 ¹ , 吉田 将敏 ¹ , 杉本 直己 ^{1,2} (¹ 甲南大・FIRST, ² 甲南大・FIBER)	
1W14-5 (1P-0535)	[14:30]
Cdk1の非Ser/Thr-Proコンセンサス配列の同定、及びC2H2 Zinc Finger タンパク質とEct2の同配列リン酸化による分裂期機能の制御	
鈴木 和広 ¹ , 迫 洗佑 ¹ , 秋山 和広 ² , 磯田 道孝 ³ , 妹尾 千春 ¹ , 中條 信成 ¹ , 佐方 功幸 ¹ (¹ 九大・シス生, ² 東大・分生研・ゲノム情報, ³ The Institute for Research in Biomedical (IRB Barcelona))	
1W14-6 (1P-0536)	[14:45]
核の凝縮機構の解析—無細胞アポトーシス系を用いて	
刀祿 重信 ¹ , 杉本 憲治 ² , 網代 廣三 ³ , 佐久間 哲史 ⁴ , 山本 卓 ¹ , 栗林 太 ¹ (¹ 川崎医大・生化学, ² 大阪府立大院・生命環境, ³ 産総研・幹細胞工学, ⁴ 広島大院・理・数理分子生命)	
1W14-7 (1P-0537)	[15:00]
Xenopus卵抽出液を封入した脂質膜人工小胞中でのアクチン動態	
野田 直紀, 馬淵 一誠 (学習院大学・理・生命)	

1W14-8 (1P-0538)	[15:20]
アフリカツメガエル初期胚における核アクチンの解析	
白井 菜月, 小田 春佳, 浦 菜緒子, 大隅 圭太, 岩淵 万里 (名大・院理・生命理学)	
Conclusion	[15:35]
持田 悟 (熊本大学)	
1W15 第15会場(5階 501)	13:15-15:45 [E]
Crosstalks between Transcription Regulation and Chromatin Regulation in Eukaryotic Cell Nucleus	
Organizers : Yoshiaki Ohkuma (Grad. Sch. Med. & Pharm. Sci., Univ. Toyama) Takashi Ito (Nagasaki University School of Medicine)	
Introduction	[13:15]
Takashi Ito (Nagasaki University School of Medicine)	
1W15-1 (1P-0235)	[13:17]
Mechanisms of Transcription Activation	
Steven Hahn (Fred Hutchinson Cancer Research Center, Seattle, WA, USA)	
1W15-2 (1P-0236)	[13:42]
Dynamic changes of transcription initiation complex during early transcription	
Yoshiaki Ohkuma ¹ , Yusuke Akimoto ¹ , Seiji Yamamoto ¹ , Satoshi Iida ¹ , Koji Hisatake ² , Fumio Hanaoka ³ , Aki Tanaka ¹ (¹ Grad. Sch. Med. & Pharm. Sci., Univ. Toyama, ² Grad. Sch. Comprehensive Human Sciences, Univ. Tsukuba, ³ Depart. Life Science, Gakushuin Univ.)	
1W15-3 (1P-0237)	[14:00]
Role of Human Mediator Subunit Med26 in Transcription Elongation	
Hidehisa Takahashi ¹ , Ichigaku Takigawa ³ , Masashi Watanabe ¹ , Delnur Anwar ¹ , Mio Shibata ¹ , Chieri Tomomori-Sato ² , Shigeo Sato ² , Amol Ranjan ² , Chris W Seidel ² , Tadasuke Tsukiyama ¹ , Masayasu Hayashi ¹ , Yasuyuki Ohkawa ¹ , Joan W Conaway ² , Ronald C Conaway ² , Shigetsugu Hatakeyama ¹ (¹ Dept. of Biochem., Hokkaido Univ. Grad. Sch. of Medicine, ² Stowers Inst. for Medical Research, ³ Creative Research Inst., Hokkaido Univ., ⁴ Dept. of Advanced Medical Initiatives, Kyushu Univ. Grad. Sch. of Medical Sci.)	
1W15-4 (1P-0238)	[14:18]
PRDM16 enhances nuclear receptor-dependent transcription of the brown fat-specific <i>Ucp1</i> gene through interactions with Mediator subunit MED1	
Satoshi Iida ² , Wei Chen ¹ , Robert G. Roeder ¹ (¹ Lab. of Biochem. and Mol. Biol., The Rockefeller Univ., ² Lab. of Gene Reg., Grad. Sch. of Med. and Pharm. Sci., Univ. of Toyama)	
1W15-5 (1P-0239)	[14:32]
Stepwise and bidirectional activation of the <i>Klf4</i> distal enhancer and the <i>Klf4</i> gene by the transcription factor IRF8 during monocyte differentiation	
Akira Nishiyama, Tatsuma Ban, Tomohiko Tamura (Dept. of Immunol., Grad. Sch. of Med., Yokohama City Univ.)	
1W15-6 (1P-0240)	[14:46]
Histone demethylase LSD1 regulates metabolism in skeletal muscle cells	
Kotaro Anan, Shinjiro Hino, Akihisa Sakamoto, Katsuya Nagaoka, Ryuta Takase, Mitsuyoshi Nakao (Dept. of Med. Cell. Biol., IMEG, Kumamoto Univ.)	
1W15-7 (1P-0241)	[15:00]
Histone H2A Thr 120 phosphorylation results in cancer via up regulation of Cyclin D1	
Hirofumi Mizusaki, Hitoshi Aihara, Takashi Ito (Nagasaki University School of Medicine)	
1W15-8 (1P-0242)	[15:18]
Gene Control by Metabolic Enzymes in Development and Disease	
Peter Verrijzer (Dept. of Biochemistry, Erasmus University Medical Center)	
Conclusion	[15:43]
Yoshiaki Ohkuma (Grad. Sch. Med. & Pharm. Sci., Univ. Toyama)	

1W16 第16会場(5階502)	13:15-15:45 [J]
ゲノム編集による哺乳類遺伝学の革命と生命科学研究の新展開	
オーガナイザー：山本 卓 (広島大・院理・数理分子生命) 畑田 出穂 (群大・生調研・ゲノム)	
1W16-1 (1P-0895)	[13:15]
CRISPR/Casシステムが開く遺伝子改変マウスの未来	
伊川 正人 (阪大・微研)	
1W16-2 (1P-0896)	[13:35]
CRISPR/Casによる哺乳類のゲノム編集	
畑田 出穂 ¹ , 堀居 拓郎 ¹ , 荒井 勇二 ² (¹ 群大・生調研・ゲノム, ² 国循・研究所・分子生物)	
1W16-3 (1P-0897)	[13:50]
機能カセットノックインマウスのためのCRISPR/Casを用いたin vivoゲノム編集	
相田 知海 ¹ , 張 景閔 ² , 佐久間 哲史 ³ , 宇佐美 貴子 ² , 石久保 春美 ¹ , 今橋 里沙 ¹ , 田中 謙二 ⁶ , 山本 卓 ⁵ , 田中 光一 ^{1,3,4} (¹ 医科歯科大・難研・分子神経科学, ² 医科歯科大・難研・組換えマウス, ³ 医科歯科大・脳統合機能研究セ, ⁴ JST・CREST, ⁵ 広島大・院理・数理分子生命学, ⁶ 慶應大・医・精神神経)	
1W16-4 (1P-0898)	[14:00]
CRISPR/Casシステムによるノックインラットの作製法	
吉見 一人, 金子 武人, 真下 知士 (京大院・医・動物実験施設)	
1W16-5 (1P-0899)	[14:10]
ゲノム編集技術による簡便迅速かつ高効率な次世代染色体工学の開発	
野村 淳 ^{1,2} , 佐久間 哲史 ³ , 神田 暁史 ⁴ , 岸本 恵子 ^{1,2} , 前田 知花 ¹ , 外丸 祐介 ⁴ , 山本 卓 ³ , 内匠 透 ^{1,2,5} (¹ 理研・BSI, ² 広島大学・院医歯薬保・神経精神病態制御学, ³ 広島大学・院理・数理分子生命学, ⁴ 広島大学・自然科学研究セ・生命科学, ⁵ 科学技術振興機構・CREST)	
1W16-6 (1P-0900)	[14:20]
CRISPR/Cas9によるウサギチロシナーゼ遺伝子の破壊	
本多 新 ^{1,2} , 廣瀬 美智子 ² , 山海 直 ³ , ヤスミン ルプナ ³ , 湯澤 和明 ³ , 本勝 希実子 ¹ , 伊豆 美奈 ¹ , 伊川 正人 ⁴ , 小倉 淳郎 ² (¹ 宮崎大学・テニュアトラック推進機構, ² 理研・バイオリソースセンター, ³ 医薬基盤研究所・霊長類医学研究センター, ⁴ 大阪大学・微生物病研究所)	
1W16-7	[14:30]
Genome-wide recessive genetic screening in mammalian cells with a lentiviral CRISPR-guide RNA library	
Kosuke Yusa (Wellcome Trust Sanger Institute)	
1W16-8 (1P-0901)	[14:50]
マルチgRNAシステムを用いたCRISPR/Cas9によるゲノム編集	
佐久間 哲史 ¹ , 中出 翔太 ¹ , 西川 綾美 ¹ , 茶山 一彰 ² , 鈴木 賢一 ¹ , 山本 卓 ¹ (¹ 広島大・院理・数理分子生命, ² 広島大・院医歯薬保・消化器・代謝内科学)	
1W16-9 (1P-0902)	[15:00]
ゲノム編集技術により遺伝子修復された遺伝病iPS細胞の全ゲノム配列解析	
鈴木 啓一郎 ¹ , Chang Yu ² , Jing Qu ³ , Mo Li ¹ , Xiaotian Yao ² , April Goeb ¹ , Senwei Tang ² , Ruotong Ren ⁴ , Emi Aizawa ¹ , Fan Zhang ¹ , Xiuling Xu ¹ , Rupa Devi Soligalla ¹ , Feng Chen ¹ , Jessica Kim ¹ , Na Young Kim ¹ , Hsin-Kai Liao ¹ , Chris Benner ¹ , Esteban Concepcion Rodriguez ¹ , Yabin Jin ² , Guang-Hui Liu ⁴ , Yingrui Li ² , Juan Carlos Izpisua Belmonte ¹ (¹ 米国ソーク生物学研究所, ² BGI・深セン, ³ 中国科学院・生物物理・非コードRNA, ⁴ 中国科学院・生物物理・生物微小分子)	
1W16-10 (1P-0903)	[15:10]
ヒトiPS細胞での相同組換え誘発による新規ゲノム解析方法の確立	
吉村 康秀, 神谷 智, 竹田 潤二 (大阪大学・医学系研究科・環境生体機能)	
1W16-11 (1P-0904)	[15:20]
TALやCRISPR/Casを利用したenChIP法による遺伝子座特異的生化学的ゲノム機能解析	
藤田 敏次, 藤井 穂高 (阪大・微研・推進室・ゲノム生化学)	

1W16-12 (1P-0905)	[15:30]
ゲノムイメージングから迫るリプログラミング機構	
宮成 悠介 (岡崎統合バイオ、核内ゲノム動態)	
1W17 第17会場(5階 503)	13:15-15:45 [J/E]
分子生物学の新技术から捉えた「生老病死」の最前線	
オーガナイザー：田中 知明 (千葉大学大学院医学研究院 細胞治療内科学)	
南野 徹 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学)	
Introduction	[13:15]
南野 徹 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学)	
1W17-1 (1P-0755)	[13:18]
オートファジーの障害による代謝リプログラミング	
小松 雅明 (新潟大・院医・分子生物)	
1W17-2 (1P-0756)	[13:58]
単一細胞レベルの発現解析による難治性固形がんの発がんメカニズムの解析	
岡本 康司 (国立がん研・発がんシステム)	
1W17-3 (1P-0757)	[13:58]
Fatty Acid Synthase inhibition engages a novel caspase-2 regulatory mechanism to induce ovarian cancer cell death	
Kenkyo Matsuura, Chih-Sheng Yang, Nai-Jia Huang, Alexander C. Robeson, Bofu Huang, Liguozhang, Sally Kornbluth (Dept. of Pharmacol. Cancer Biol, Duke Univ. Med. Center)	
1W17-4 (1P-0758)	[14:12]
グルタミン代謝制御分子GLS2を介した新たな幹細胞維持機構	
鈴木 佐和子 ¹ , 中山 哲俊 ¹ , 鈴木 稔 ² , 菅野 純夫 ² , 横手 幸太郎 ¹ , 田中 知明 ¹ (千葉大学大学院医学研究院 細胞治療内科学, ² 東京大学 メディカルゲノム専攻)	
1W17-5 (1P-0759)	[14:26]
Transcription activator-like effector nucleases (TALENs)システムを用いて作製した<i>phosphatase and tensin homolog (PTEN)</i>ノックアウトメダカ	
松崎 ゆり子 ¹ , 佐久間 哲史 ² , 山本 卓 ² , 佐谷 秀行 ¹ (¹ 慶大・医・先端研・遺伝子制御, ² 広島大・院理・数理分子生命)	
1W17-6 (1P-0760)	[14:40]
FBXL10によるエピゲノム複合体を介した脂肪細胞分化調節機構	
稲垣 駿 ¹ , 岩崎 聡 ¹ , 松村 欣宏 ¹ , 川村 猛 ² , 阿部 陽平 ¹ , 吉田 文乃 ¹ , 中村 加奈子 ¹ , 馬郡 健太 ¹ , 仲木 竜 ¹ , 田中 志志也 ² , 児玉 龍彦 ² , 油谷 浩幸 ³ , 酒井 寿郎 ¹ (¹ 東京大学・先端研・代謝医学, ² 東京大学・先端研・システム生物医学, ³ 東京大学・先端研・ゲノムサイエンス)	
1W17-7 (1P-0761)	[14:54]
加齢関連疾患における脂肪不全の意義	
清水 逸平 ^{1,2} , 吉田 陽子 ^{1,2} , Kenneth Walsh ³ , 南野 徹 ¹ (新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学, ² 新潟大学大学院医歯学総合研究科 先進老化制御学, ³ ボストン大学医学部ワイタッカー心臓血管研究所)	
1W17-8 (1P-0762)	[15:14]
ゲノムワイド解析から捉える老年病と運動器の老化を制御する分子機構	
浦野 友彦 ¹ , 井上 聡 ^{1,2} (¹ 東京大学医学部附属病院老年病科, ² 東京大学22世紀医療センター抗加齢医学講座)	
1W17-9 (1P-0763)	[15:28]
骨格筋におけるAkt活性の低下がインスリン抵抗性と加齢性筋肉・骨減弱症に及ぼす作用の検討	
笹子 敬洋 ^{1,2} , 門脇 孝 ^{1,2} , 植木 浩二郎 ^{1,2,3} (¹ 東大・システム疾患生命科学による先端医療技術開発 (TSBMD), ² 東大・院医・糖代謝内, ³ 東大・院医・分子糖尿病科学)	
Conclusion	[15:42]
田中 知明 (千葉大学大学院医学研究院 細胞治療内科学)	

1W18 第18会場(5階 511+512)	13:15-15:45 [J]
細胞内共生した生物や環境ウイルスのゲノム進化	
オーガナイザー：橋本 哲男 (筑波大学生命環境系) 武村 政春 (東京理科大学理学部第一部)	
Introduction	[13:15]
武村 政春 (東京理科大学理学部第一部)	
1W18-1 (1P-0001)	[13:20]
哺乳類のゲノムに内在化するウイルス由来の配列の比較解析	
中川 草 (東海大・医・分子生命)	
1W18-2 (1P-0002)	[13:35]
細胞分化に伴うプロファージによる遺伝子再構築	
佐藤 勉 ^{1,2} , 安部 公博 ¹ , 河野 裕太 ² , 岩本 敬人 ² (¹ 法大・マイクロナノ, ² 法大・生命機能)	
1W18-3 (1P-0003)	[13:50]
環境ウイルスとヒト集団の関わり	
佐藤 裕徳 ¹ , 本村 和嗣 ² , 横山 勝 ¹ (¹ 国立感染研・病原体ゲノム, ² 日・タイ感染症共同研究センター)	
1W18-4 (1P-0004)	[14:05]
巨大ウイルスは海洋生態系進化の原動力である	
緒方 博之 (京大・化研)	
1W18-5 (1P-0005)	[14:25]
細胞内共生クロレラに感染するウイルスのゲノム解析：多様性と宿主クロレラとの関係	
山田 隆 (広大・院先端・生命機能)	
1W18-6 (1P-0006)	[14:45]
トリミエマ原虫の機能未知共生体TC 1のゲノム性状	
新里 尚也 (琉球大・熱生研)	
1W18-7 (1P-0007)	[15:05]
寄生性アメーバに細胞内共生するキネトプラスチダのゲノム進化	
谷藤 吾朗 (筑波大・生命環境)	
1W18-8 (1P-0008)	[15:25]
全ゲノム解析とRNA-seq解析によって明らかになった酢酸菌<i>Asaia bogorensis</i>の新規ストレス応答遺伝子群	
河合 幹彦 ^{1,2} , 東裏 典枝 ^{1,2} , 早崎 君江 ¹ , 岡本 成平 ¹ , 平川 英樹 ³ , 武部 聡 ¹ , 松下一信 ⁴ , 東 慶直 ¹ (¹ 近大生物理工, ² JST-ALCA, ³ かずさDNA, ⁴ 山口大農)	
Conclusion	[15:40]
橋本 哲男 (筑波大学生命環境系)	

第2日目11月26日(水)

2W2 第2会場(3階301)

13:15-15:45 [J/E]

多角的アプローチによるゲノム機能の包括的理解

オーガナイザー：井上 聡(東京大学大学院医学系研究科抗加齢医学講座, 埼玉医科大学ゲノム医学研究センター 遺伝子情報制御部門)
藤井 穂高(大阪大学微生物病研究所 感染症学免疫学融合プログラム推進室 ゲノム生化学研究グループ)

2W2-1 (2P-0245)

[13:15]

アンドロゲン受容体による転写プログラムの統合的解析により同定された新たなエピジェネティック制御機構
高山 賢^{1,2}, 井上 聡^{1,2} (¹東大・院医・抗加齢, ²東大・院医・加齢)

2W2-2 (2P-0246)

[13:35]

転写因子インタラクтомネットワークのハロタグプロテインアレイによるマッピング

矢崎 潤史^{1,2,11}, Alice Y Kim^{1,2}, Nito Kazumasa¹, Fernando Aleman³, Katherine N Chang¹, Anne-Ruxandra Carvunis^{4,5}, Mary Galli², Rosa Quan², Hien Nguyen², Liang Song¹, Jose M Alvarez⁶, Shao-shan C Huang¹, Niroshan Ramachandran⁷, Rodrigo A Gutierrez⁸, David E Hill^{1,5}, Julian I Schroeder³, Joanne Chory^{1,10}, Pascal Braun⁸, Joshua LaBaer⁹, Marc Vidal^{1,5}, Joseph R Ecker^{1,2,10} (¹Plant Biology Laboratory, The Salk Institute for Biological Studies, ²Genomic Analysis Laboratory, The Salk Institute for Biological Studies, ³Division of Biological Sciences, Cell and Developmental Biology Section, University of California San Diego, ⁴Center for Cancer Systems Biology (CCSB) and Department of Cancer Biology, Dana-Farber Cancer Institute, ⁵Department of Genetics, Harvard Medical School, ⁶FONDAP Center for Genome Regulation, Millennium Nucleus Center for Plant Functional Genomics, Departamento de Genética Molecular y Microbiología, Pontificia Universidad Católica de Chile, ⁷Life Technologies Corporation, ⁸Center of Life and Food Sciences Weihenstephan, Department of Plant Systems Biology, Technische Universität München (TUM), ⁹The Biodesign Institute, Personalized Diagnostics, Arizona State University, ¹⁰Howard Hughes Medical Institute, The Salk Institute for Biological Studies, ¹¹RIKEN, IMS)

2W2-3 (2P-0247)

[13:50]

Integration of Transcriptome Database, DBTSS, with Multi-Omics Data and Disease-associated Human Variations

鈴木 稜¹, 河野 信¹, 土原 一哉¹, 菅野 純夫¹, 中井 謙太² (¹東京大学新領域創成科学研究科, ²東京大学医学研究所, ³国立がん研究センター EPOC, ⁴ROIS DBCLS)

2W2-4 (2P-0248)

[14:05]

Dynamics of Scc2 during S-phase

加藤 由起, 中戸 隆一郎, 白髭 克彦 (東大・分生研・ゲノム情報)

2W2-5 (2P-0249)

[14:25]

神経変性疾患関連RNA結合タンパクFUSによる早期転写終結制御機構の解明

増田 章男, 武田 淳一, 奥野 達矢, 大野 欽司 (名大・医・神経遺伝情報)

2W2-6 (2P-0250)

[14:40]

環状型転写産物の包括的理解に向けたDMD遺伝子ホットスポットの解析

鈴木 仁^{1,2}, 亀山 俊樹³, 前田 明³, 塚原 俊文² (¹北陸先端大・ナノセンター, ²北陸先端大・マテリアル, ³藤田保衛大・総医研)

2W2-7 (2P-0251)

[14:55]

Comprehensive identification of chromatin components on mammalian class I promoter by ePICH

Satoru Ide^{1,2}, Kazuhiro Maeshima¹, Jerome Dejardin² (¹Biol. Macro. Lab. NIG, ²Biol. Rep. Seq. IGH)

2W2-8 (2P-0252)

[15:10]

Capturing chromatin: biochemical analysis of genome functions using the locus-specific chromatin immunoprecipitation technologies

Toshitsugu Fujita, Hodaka Fujii (Chromatin Biochem. Res. Gr., Res. Inst. Microbial. Dis., Osaka Univ.)

2W2-9 (2P-0253)

[15:30]

Local chromatin configuration in the control of thymocytes developmental fate

Ichiro Taniuchi (Lab. Trans. Reg., RIKEN)

2W3 第3会場(3階 302) 13:15-15:45 [J]
ユビキチンをはじめとした翻訳後修飾によるタンパク質の機能・動態変換

 オーガナイザー：岩井 一宏 (京都大学大学院医学研究科)
 村田 茂穂 (東京大学大学院薬学系研究科)

2W3-1 (2P-0383) [13:15]
PINK1 によってリン酸化されたユビキチンは Parkin を活性化する

 小谷野 史香^{1,2}, 松田 憲之^{2,3} (¹東大・院新領域, ²東京都医学総合研究所 蛋白質代謝研究室, ³東京都医学総合研究所 蛋白質リサイクルプロジェクト)

2W3-2 (2P-0384) [13:33]
直鎖状ポリユビキチン鎖によるIKK複合体活性化メカニズムの解析

 藤田 宏明¹, Simin Rahighi^{2,4}, 古橋(秋田) 菜里子³, 加藤 龍一⁴, 若槻 壮一^{2,4}, 岩井 一宏¹ (¹京大院・医・細胞機能制御学, ²スタンフォード大・医・構造生物学, ³大阪大・生命機能研究科, ⁴高エネ研 物質構造科学研究所 構造生物学研究センター)

2W3-3 (2P-0385) [13:51]
ポリユビキチン鎖の鎖長依存的な新規特性

森本 大智 (京大・院工・分子工学)

2W3-4 (2P-0386) [14:09]
エンドソーム関連タンパク質Bro1とユビキチンの量的制御因子Rfu1の相互作用の解析

 木村 洋子^{1,2}, 川脇 純子², 田中 啓二² (¹静大・院農・応用生物化学, ²東京都医学研・蛋白質代謝)

2W3-5 (2P-0387) [14:22]
核小体ストレス応答における分解性及び非分解性ユビキチン化修飾の機能解析

 川口 紘平¹, 斎藤 尚吾¹, 早川 哲¹, 田中 利明¹, 山本 章嗣², 駒田 雅之¹ (¹東工大・生命・長浜バイオ・バイオサイエンス)

2W3-6 (2P-0388) [14:35]
ユビキチンリガーゼNedd4がIRS-2を介したIGFシグナルを増強する新しい分子機構

 福岡 俊明¹, 吉原 英人^{2,3}, 古田 遥佳², 伯野 史彦², 佐伯 泰³, 中津 祐介¹, 鎌田 英明¹, 高橋 伸一郎², 浅野 知一郎¹ (広島大・医歯薬保・医, ²東大・農・応用動物科学・応用生命化学, ³都医学研・生体分子先端研究)

2W3-7 (2P-0389) [14:48]
pVHLはFOBとHIF- α の分解を介してVHL病を制御する

 奥村 文彦¹, 植松 桂司¹, 松崎 真理子¹, 平野 みえ¹, 奥村 晶子¹, 錦見 昭彦², 金森 正和¹, 執印 太郎³, 福井 宣規², 中務 邦雄¹, 嘉村 巧¹ (¹名大・院理・分子修飾, ²九大・生医研・免疫遺伝, ³高知大・泌尿器)

2W3-8 (2P-0390) [15:01]
SCF^{Fbi12}によるp21^{WAF1/CIP1}安定化制御の分子機構

鶴田 文憲, 千葉 智樹 (筑波大・生命環境)

2W3-9 (2P-0391) [15:14]
哺乳類プロテアソームサブユニットRpn10とRpn13による協調したユビキチン認識はプロテアソーム機能に重要である

濱崎 純, 村田 茂穂 (東大・院薬・蛋白質代謝)

2W3-10 (2P-0392) [15:27]
SUMO化修飾によるテロメア長制御機構の解明

 宮川 恵輔¹, 藤澤 志帆¹, 在田 朋晃¹, 中村 通², 田中 克典¹ (¹関学大・理工・生命, ²イリノイ大・分子遺伝)

総合討論 [15:40]
2W4 第4会場(3階 303) 13:15-15:45 [J]
生体酸素ダイナミクスの感知・応答研究の最先端

 オーガナイザー：南学 正臣 (東大・院医・腎内)
 田久保 圭誉 (慶大・医/国立国際医療研究セ)

2W4-1 (2P-0447) [13:15]
低酸素シグナルによる造血幹細胞制御

田久保 圭誉 (慶大・医/国立国際医療研究セ)

2W4-2 (2P-0448)

[13:30]

マクロファージの代謝リプログラミングにおける細胞内低酸素センサー仙波 宏章¹, 武田 憲彦², 砂河 孝行², 杉浦 悠毅³, 安部 元¹, 相馬 桂¹, 小山 雄広¹, 和氣 正樹¹, 真鍋 一郎¹, 小室 一成¹, 永井 良三⁴ (東大・循環器内科, ²東京医科歯科大・難治研, ³慶応大・医・医化学, ⁴自治医科大学)

2W4-3 (2P-0449)

[13:45]

HIFプロリン水酸化酵素PHD3はビルビン酸脱水素酵素PDH-E1βと結合して、細胞内のエネルギー代謝を制御する中山 恒¹, 南嶋 洋司^{2,3} (東京医科歯科大・難治研・低酸素生物学, ²慶應・医・医化学, ³JST, ERATO, 末松ガスバイオロジープロジェクト)

2W4-4 (2P-0450)

[14:00]

多能性幹細胞の代謝を制御する対称性アルギニンメチル化タンパク質の解析永松 剛^{1,2}, 山本 雄広^{2,4}, 石渡 恭子^{2,4}, 田久保 圭誉^{1,5}, 林 克彦³, 末松 誠^{2,4}, 須田 年生¹ (慶應義塾大学 医学部 発生・分化生物学, ²慶應義塾大学 医学部 医化学, ³九州大学 大学院医学研究院 応用幹細胞医科学 ヒトゲノム幹細胞医学, ⁴JST-ERATO末松ガスバイオロジープロジェクト, ⁵国立国際医療研究センター研究所 生体恒常性プロジェクト)

2W4-5 (2P-0451)

[14:15]

The Hypoxia-Inducible Epigenetic Regulators Jmjd1a and G9a Provide a Mechanistic Link between Angiogenesis and Tumor Growth上田 潤^{1,5}, Jolene H. Ho¹, Kian Leong Lee¹, 北島 正二郎¹, Henry Yang¹, Wendi Sun¹, 福原 寛子¹, Norazean Zaiden¹, Shing Leng Chan², 立花 誠³, 眞貝 洋一³, 加藤 宏幸¹, Lorenz Poellinger^{1,4} (シンガポール国立大学、シンガポールがん科学研究所、がん生物学部門, ²シンガポール国立大学、シンガポールがん科学研究所、異種移植がんモデル施設, ³京都大学、ウイルス研究所、附属感染症モデル研究センター, ⁴カロリンスカ研究所、細胞分子生物学部門, ⁵大阪大学、微生物病研究所、生体応答遺伝子解析センター)

2W4-6 (2P-0452)

[14:30]

慢性腎臓病の進展とエピゲノム~低酸素刺激によるクロマチン立体構造変化

三村 雅真理 (東大病院・腎臓内科)

2W4-7 (2P-0453)

[14:45]

低酸素感受性因子HIF-1α及び酸化ストレス応答因子Nrf2の安定化に関わるタンパク質因子の機能解析

大黒 亜美, 小山 千佳, 箕浦 洋介, 今岡 進 (関西学院大・理工・生命)

2W4-8 (2P-0454)

[15:00]

HIF活性化分子・Mint3による炎症性モノサイトの機能制御ががん転移を促進する坂本 毅治^{1,2}, 原 敏朗¹, 中岡 寛樹¹, 清水 元治^{1,3} (東大・医科研・腫瘍細胞社会学, ²東大・医科研・人癌病遺伝子, ³高知大・医附病院・次世代医療創造センター)

2W4-9 (2P-0455)

[15:15]

アルギニンメチル化修飾が制御するがん細胞の代謝山本 雄広¹, 高野 直治^{1,2}, 石渡 恭子^{1,2}, 末松 誠^{1,2} (慶應大・医・医化学, ²JST-ERATO 末松ガスバイオロジープロジェクト)

2W4-10 (2P-0456)

[15:30]

がん微小環境におけるピリミジン生合成メカニズム稲岡 健ダニエル¹, 弘田 幸子¹, 笹川 貴浩¹, 富塚 江利子², 坂井 千香³, 斎本 博之⁴, 原田 繁春⁵, 北 潔¹ (東大・医・生物医学学, ²新潟薬大・薬・衛生化学, ³国立精神・神経医療研究センター 神経研, ⁴鳥取大・工・物質工・精密合成化学, ⁵京都工繊大・工・応生・構造生物学)

2W5 第5会場(3階304)

13:15-15:45 [E]

System-wide measurement and bioinformaticsOrganizers : Wataru Iwasaki (Dept Biol Sci, Grad Sch Sci, U Tokyo)
Katsuyuki Shiroguchi (RIKEN IMS)**Introduction**

[13:15]

Wataru Iwasaki (Dept Biol Sci, Grad Sch Sci, U Tokyo)

- 2W5-1 (2P-0954) [13:19]**
Towards next generation system-wide measurements: Highly accurate and absolute quantification of RNA molecules from small amounts of sample by "molecular barcoding"
 Katsuyuki Shiroguchi (RIKEN IMS)
- 2W5-2 (2P-0955) [13:39]**
Quantification of Target Proteins in Picoliter Biological Samples by using Pressure Probe Electrospray Ionization Mass Spectrometry
 Nobuaki Takemori¹, Taiken Nakashima², Ayako Takemori¹, Rosa Erra-Balsells³, Kenzo Hiraoka⁴, Hiroshi Nonami²
 (¹Proteo-Science Ctr., Ehime Univ., ²Fac. of Agriculture, Ehime Univ., ³Univ. of Buenos Aires, ⁴Clean Energy Res. Ctr., Univ. of Yamanashi)
- 2W5-3 (2P-0956) [13:59]**
Using next-generation sequencing to identify links between the mammalian circadian oscillator and ageing
 Sara S. Fonseca Costa, Juergen A. Ripperger (Dep. of Biol., Biochem., Univ. of Fribourg)
- 2W5-4 (2P-0957) [14:19]**
Understanding the complex associations between genes and traits by the use of new statistical approaches
 Jun Sese (Dept. Comp. Sci., Ochanomizu Univ.)
- 2W5-5 (2P-0958) [14:39]**
Absolute quantification of all human metabolic enzymes and metabolic systems analysis
 Fumiko Matsuzaki¹, Masaki Matsumoto², Kiyotaka Oshikawa³, Keiichi Nakayama-L³ (¹Integrated Omics, Med. Inst. of Bioreg., Kyushu University, ²Proteomics, Med. Inst. of Bioreg., Kyushu University, ³Mol. Cell. Biol., Med. Inst. of Bioreg., Kyushu University)
- 2W5-6 (2P-0959) [14:50]**
Integrating reductive and synthetic approaches in biology using man-made cell-like compartments
 Wataru Aoki^{1,2}, Masato Saito², Ri-ichiroh Manabe³, Hirotada Mori⁴, Yoshinori Yamaguchi², Eiichi Tamiya² (¹JSPS, ²Grad. Sch. Eng., Osaka Univ., ³RIKEN Center for Life Sci. Tech., ⁴NAIST)
- 2W5-7 (2P-0960) [15:01]**
Digital expression profiling of the compartmentalized transcriptome of Purkinje neurons
 Anton Kratz¹, Pascal Beguin², Megumi Kaneko², Takahiko Chimura², Ana Maria Suzuki¹, Atsuko Matsunaga², Sachi Kato¹, Nicolas Bertin¹, Timo Lassmann¹, Rejan Vigot², Piero Carninci¹, Charles Plessy¹, Thomas Launey² (¹RIKEN Center for Life Science Technologies, Division of Genomic Technologies, ²RIKEN Brain Science Institute, Launey Research Unit)
- 2W5-8 (2P-0961) [15:12]**
MOCCS: a bioinformatic method to enumerate DNA-binding motifs from ChIP-Seq data
 Haruka Ozaki¹, Hikari Yoshitane², Hideki Terajima², Ngoc-Hien Du³, Yutaka Suzuki¹, Taihei Fujimori⁴, Naoki Kosaka², Shigeki Shimba⁵, Sumio Sugano⁶, Toshihisa Takagi², Yoshitaka Fukada², Wataru Iwasaki^{1,2} (¹Dept. of Comp. Biol., Grad. Sch. of Front. Sci., Univ. of Tokyo, ²Dept. of Biol. Sci., Grad. Sch. of Sci., Univ. of Tokyo, ³Center for Integrative Genomics, Univ. of Lausanne, Lausanne, Switzerland, ⁴Dept. of Bas. Sci., Grad. Sch. of Arts and Sci., Univ. of Tokyo, ⁵Sch. of Pharm. Nihon Univ., ⁶Dept. of Med. Sci., Grad. Sch. of Front. Sci., Univ. of Tokyo)
- 2W5-9 (2P-0962) [15:23]**
Detection of allelic imbalance of reprogrammed cells
 Takaho A Endo, Daisuke Yamada, Haruhiko Koseki, Osamu Ohara (RIKEN IMS)
- 2W5-10 (2P-0963) [15:34]**
Comprehensive analysis for human skin microbiome
 Takuji Yamada, Issei Nakamura, Hikaru Watanabe, Hiroshi Mori, Ken Kurokawa (Tokyo Institute of Technology)

2W6 第6会場(3階 311+312) 13:15-15:45 [J]

転移因子とゲノム・エピゲノムダイナミクス

オーガナイザー：一柳 健司 (九州大学生体防御医学研究所)
佐瀬 英俊 (沖縄科学技術大学院大学)

Introduction [13:15]

佐瀬 英俊 (沖縄科学技術大学院大学)

2W6-1 (2P-0001) [13:17]

トランスポソンの抑制と抗抑制

角谷 徹仁 (国立遺伝学研究所)

2W6-2 (2P-0002) [13:37]

生殖細胞特異的RNAi経路による転移因子の抑制機構

塩見 春彦 (慶応大・医)

2W6-3 (2P-0003) [13:57]

宿主の染色体伝達欠損に伴うトランスポソン制御変化大野 悠子¹, 久保田 佳乃¹, 石井 浩二郎^{1,2} (¹阪大・生命機能, ²阪大・未来戦略)

2W6-4 (2P-0004) [14:17]

肝臓がんにおいて発現上昇するLTR由来のnon-coding RNA橋本 浩介¹, Ana Maria Suzuki¹, Alexandre Dos Santos², Alessandro Bonetti¹, Xian-Yang Qin¹, Charles Plessy¹, Alexandre Fort¹, Bogumil Kaczkowski¹, Alistair R.R. Forrest¹, 小嶋 聡一¹, Marie Annick Buendia², Jamila Faivre², Piero Carninci¹ (¹理研・ライフサイエンス技術基盤研究センター, ²INSERM, France)

2W6-5 (2P-0005) [14:31]

マウス生殖細胞・初期胚のDNAメチローム解析小林 久人¹, 坂下 陽彦², 若井 拓哉², 小池 佐², 佐野 賢¹, 河野 友宏^{1,2} (¹東京農大・ゲノム, ²東京農大・バイオ)

2W6-6 (2P-0006) [14:45]

ゲノムワイドなトランスポソン転移検出プログラム: Transposon Insertion Finder中込 マリコ¹, 土井 考爾¹, Elena Solovieva², 高橋 章¹, 安江 博¹, 廣近 洋彦¹, 宮尾 安藝雄¹ (¹農業生物資源研・農業生物ゲノム, ²産総研・糖鎖創薬)

2W6-7 (2P-0007) [14:59]

核内piRISC依存的トランスポソン転写抑制機構に必須なMaelstromの機能解析

大西 遼, 難波 祐里香, 佐藤 薫, 塩見 美喜子 (東大・院理・生物学)

2W6-8 (2P-0008) [15:13]

RNA interferenceとDNA interference: 脊索動物ワカレオタマボヤ(Oikopleura dioica)における遺伝子サイレンシングシステム

表迫 竜也, 小沼 健, 西田 宏記 (阪大・院理・生物学)

2W6-9 (2P-0009) [15:27]

Scml2 Establishes the Male Germline Epigenome through Regulation of Histone H2A Ubiquitination

Satoshi Namekawa (Cincinnati Childrens Hospital, Univ of Cincinnati)

Conclusion [15:41]

一柳 健司 (九州大学生体防御医学研究所)

2W7 第7会場(3階 313+314) 13:15-15:45 [J]

幹細胞から様々な機能細胞を分化誘導する試み

オーガナイザー：原 孝彦 (東京都医学総合研究所)
桑 昭苑 (熊本大学発生医学研究所)

Introduction [13:15]

原 孝彦 (東京都医学総合研究所)

2W7-1 (2P-0589)	[13:18]
増殖しないヒトリンパ球のiPS化と当該iPS細胞からのTリンパ球再分化誘導と機能解析	
若尾 宏 (北海道大学大学院医学研究科衛生学・細胞予防医学)	
2W7-2 (2P-0590)	[13:33]
iPS細胞技術を利用したヒトNKT細胞再生とがん免疫療法	
山田 大輔, ビスカルド ラウル, 伊豫田 智典, 遠藤 高帆, 藤井 慎一郎, 小原 取, 谷口 克, 古関 明彦 (理研・統合生命医科学)	
2W7-3 (2P-0591)	[13:45]
転写因子Lhx2による多能性幹細胞から長期骨髄再建能を有する造血幹細胞様細胞への誘導	
北島 健二 ¹ , 川口 真実 ² , 宮下 和也 ² , 鹿子田 真衣 ^{1,3} , 中島 鞠乃 ^{1,3} , 原 孝彦 ^{1,2} (¹ 都医学研, ² 東医歯大・院, ³ 中央大・生命)	
2W7-4 (2P-0592)	[13:57]
腎臓構成細胞の起源と多能性幹細胞からの三次元再構築の試み	
太口 敦博, 西中村 隆一 (熊大・発生研・腎臓発生)	
2W7-5 (2P-0593)	[14:12]
マウスES細胞から、cranial neural crest幹細胞を効率的に分化させる方法の確立	
野崎 正美 ¹ , 南野 友希 ^{1,2} , 覚道 健治 ² , 大西 祐一 ^{1,2} (¹ 大阪大学, ² 大阪歯科大学)	
2W7-6 (2P-0594)	[14:24]
ヒト多能性幹細胞の未分化維持および分化におけるメチオンin代謝の役割	
白木 伸明 ¹ , 白木 恭子 ² , 津山 友徳 ^{1,3} , 小幡 史明 ^{4,5} , 三浦 正幸 ^{4,5} , 永江 玄太 ⁶ , 油谷 浩幸 ⁶ , 桑 和彦 ⁷ , 遠藤 文夫 ² , 桑 昭苑 ^{1,3} (熊大・発生研・多能性幹細胞, ² 熊大・院生命科学・小児科学, ³ 熊大・リーディング大学院・HIGO, ⁴ 東大・院薬・遺伝学, ⁵ CREST, JST, ⁶ 東大・先端研・ゲノムサイエンス, ⁷ 名市大・院薬・神経薬理)	
2W7-7 (2P-0595)	[14:36]
ホモ変異体マウスES細胞バンクを用いた包括的遺伝子機能解析	
堀江 恭二 ¹ , 吉田 純子 ^{1,2} (¹ 奈良医大・生理 ² , ² 阪大・院医・環境生体機能)	
2W7-8 (2P-0596)	[14:51]
転写産物および蛋白質の大規模発現量データを用いたヒト人工多能性幹細胞における転写後制御機能解析	
岩崎 未央 ¹ , 川原 優香 ¹ , 小野 美幸 ¹ , 石濱 泰 ² , 山中 伸弥 ^{1,3} , 中川 誠人 ¹ (¹ 京大・CiRA, ² 京大・院・薬学, ³ Gladstone Inst. of Cardiovascular Disease, UCSF)	
2W7-9 (2P-0597)	[15:03]
抑制性ヒストン修飾の阻害剤による心筋の直接リプログラミングの促進	
平井 博之, 桔梗 伸明 (ミネソタ大・遺伝, 細胞生物, 発生学)	
2W7-10 (2P-0598)	[15:15]
表皮幹細胞の分化を制御する微量元素の解析	
井上 悠 ^{1,2} , 長谷川 靖司 ^{1,3} , 坂 貞徳 ¹ , 山田 貴亮 ¹ , 伊達 靖 ¹ , 水谷 宏 ¹ , 中田 悟 ¹ , 田中 正彦 ² , 平嶋 尚英 ² (日本メナード化粧品(株) 総合研究所, ² 名市大院・薬学研究科, ³ 名大院・医・メナード共同研究講座)	
2W7-11 (2P-0599)	[15:27]
アクチン細胞骨格の動態変化が脂肪細胞分化を制御する分子機構の解明	
信末 博行 ^{1,2} , 大西 伸幸 ¹ , 清水 孝恒 ¹ , 杉原 英志 ¹ , 沖 嘉尚 ² , 住川 優子 ² , 千代田 達幸 ¹ , 赤司 浩一 ³ , 加野 浩一郎 ² , 佐谷 秀行 ¹ (¹ 慶應大・医・先端研・遺伝子制御, ² 日大・生物資源・応生, ³ 九大・医・病態修復内科)	
総合討論	[15:39]

2W8 第8会場(3階 315) 13:15-15:45 [J/E]
遺伝性疾患の分子病態：分子機能から高次生命機能へ
 オーガナイザー：菅澤 薫 (神戸大・バイオシグナル/神戸大・院理)
 高田 穰 (京大・放生研・晩発・DNA損傷シグナル)

2W8-1 (2P-0854) [13:15]
翻訳後修飾を介した色素性乾皮症遺伝子産物の機能制御
 秋田 眞季¹, 松本 翔太^{1,2}, 井倉 毅², 酒井 恒^{1,2}, 菅澤 薫^{1,2} (¹神戸大・バイオシグナル, ²神戸大・院理, ³京大・放生研)

2W8-2 (2P-0855) [13:32]

癌周囲の微小環境におけるFbxw7の発現量が癌転移能を規定する

弓本 佳苗^{1,2}, 秋吉 清百合³, 上尾 裕紀³, 小野山 一郎^{1,2}, 上尾 裕昭¹, 森 正樹⁵, 三森 功士³, 中山 敬一^{1,2} (¹九大・生医研・分子医科学, ²科学技術振興機構・戦略的創造研究推進事業, ³九州大学・別府病院, ⁴うえお乳腺外科, ⁵大阪大学・大学院医学系研究科・外科学講座消化器外科学)

2W8-3 (2P-0856) [13:45]

BRAFノックインマウス作製によるRASopathiesの病態解明と治療法研究

井上 晋一¹, 守谷 充司¹, 渡邊 裕介², 宮川-富田 幸子³, 新堀 哲也¹, 大場 大樹¹, 小野 栄夫⁴, 呉 繁夫³, 小原 利彦², 松原 洋一^{1,6}, 青木 洋子¹ (¹東北大・医・遺伝病, ²東北大・加齢研・神経機能, ³東京女子医大・循環器小児科・総研, ⁴東北大・医・病理形態, ⁵東北大・医・小児, ⁶国立成育医療研究センター)

2W8-4 (2P-0857) [13:58]

マウスDgcr 2遺伝子は軟骨細胞の増殖分化制御により骨格形成に影響を与える

梶原 景正¹, 渡部 聡², 木村 稯¹ (¹東海大・医・基礎医学系, ²農業生物資源研究所 畜産ゲノム)

2W8-5 (2P-0858) [14:11]

グルタミン酸トランスポーター GLASTのヒトレパリアントは網膜神経節細胞の脆弱性にin vivoで寄与する
今橋 里沙¹, 相田 知海¹, 柳澤 美智子¹, 佐久間 哲史², 宇佐美 貴子³, 石久保 春美¹, 山本 卓², 田中 光一^{1,4,5} (¹医科歯科大・難研・分子神経科学, ²広島大・院理・数理分子生命理学, ³医科歯科大・難研・組織換えマウス, ⁴医科歯科大・脳統合機能研究セ, ⁵JST・CREST)

2W8-6 (2P-0859) [14:24]

口唇口蓋裂患者で見つかったEFNB1遺伝子変異の細胞培養による機能解析

稲垣 秀人¹, 杉本 賢政¹, 堤 真紀子¹, 田口 佳広², 奥本 隆行², 吉村 陽子², 朝田 仁子³, 宮田 昌史³, 吉川 哲史³, 倉橋 浩樹¹ (¹藤田保健衛生大学総合医科学研究所分子遺伝学研究部門, ²藤田保健衛生大学医学部形成外科学, ³藤田保健衛生大学医学部小児科学)

2W8-7 (2P-0860) [14:37]

ALS関連変異型TDP43に見られる異常切断と核一細胞質輸送変調の解析

北村 朗^{1,2}, 柴崎 愛², 油野 祥子², 金城 政孝^{1,2} (¹北大・先端生命・細胞機能, ²北大・院・生命)

2W8-8 (2P-0861) [14:50]

ヒト紡錘体形成チェックポイント欠損症における細胞増殖に共役した一次繊毛退縮制御の破綻による繊毛病発症機構

宮本 達雄¹, 細野 康介¹, 落合 博², Royba Ekaterina¹, 佐久間 哲史³, 山本 卓³, 松浦 伸也¹ (¹広島大・原医研・放射線ゲノム疾患, ²広島大・クロマチン動態数理研究拠点, ³広島大・院理・数理分子生命理学)

2W8-9 (2P-0862) [15:03]

ファンコニ貧血経路とそのキータンパク質FANCD2の機能解析

高田 稯¹, 勝木 陽子¹, 佐藤 浩一², 石合 正道¹, 胡桃坂 仁志² (¹京大・放生研・晩発・DNA損傷シグナル, ²早稲田大・先進理工・電気情報生命)

2W8-10 (2P-0863) [15:20]

The Fanconi anemia-BRCA pathway and cancer

Toshiyasu Taniguchi (Fred Hutchinson Cancer Research Center, HHMI)

総合討論 [15:40]

2W9 第9会場(4階411+412) 13:15-15:45 [J]

免疫受容体による細胞間コミュニケーションの新しい地平線

オーガナイザー：深井 周也 (東京大学放射光連携研究機構)
前仲 勝実 (北海道大学大学院薬学研究院)

Introduction [13:15]

深井 周也 (東京大学放射光連携研究機構)

2W9-1 (2P-0716) [13:20]

アレクゲン親和性が制御するIgE受容体シグナル伝達機構の機能解析

鈴木 亮^{1,2}, Leach Sarah¹, Liu Wenhua³, Ralston Evelyn³, Scheffel Jorg⁴, Zhang Weiguo⁴, Lowell Clifford⁵, 平嶋 尚英², Rivera Juan¹ (¹米国立衛生研究所, ²名市大・院・薬, ³米国立衛生研究所, ⁴デューク大学, ⁵カリフォルニア大学サンフランシスコ校)

2W9-2 (2P-0717)	[13:35]
抑制型免疫レセプター LMIR3/CD300fの欠損はDSS腸炎を増悪させる	
松川 敏大 ^{1,2,3} , 伊沢 久未 ^{2,4} , 北村 俊雄 ² , 北浦 次郎 ^{2,4} (¹ 北大・血内, ² 東大・医科研・細胞療法, ³ 日本学術振興会特別研究員DC, ⁴ 順大・アトピー疾患研究センター)	
2W9-3 (2P-0718)	[13:50]
細胞間コミュニケーションシステムCD47-SIRP α系による血液・免疫系の制御	
小谷 武徳, 鷺尾 健, ダトゥ レスパティカ, 村田 陽二, 齋藤 泰之, 的崎 尚 (神戸大・院医・シグナル統合学)	
2W9-4 (2P-0719)	[14:05]
一分子計測技術によるS1P受容体の動態解析	
青井 啓太 ^{1,2} , 菊田 順一 ^{1,2} , 小塚 淳 ³ , 上田 昌宏 ³ , 石井 優 ^{1,2} (¹ 大阪大・医/生命・免疫細胞生物学, ² JST, CREST, ³ 理研 QBiC・細胞シグナル動態)	
2W9-5 (2P-0720)	[14:20]
アドレナリン受容体とケモカイン受容体のクロストークによるリンパ球動態制御	
鈴木 一博, 中井 晶子, 早野 祐紀, 古田 書都 (大阪大学免疫学フロンティア研究センター)	
2W9-6 (2P-0721)	[14:35]
神経発生や免疫応答に関わるセマフォリンシグナルをささえる低親和性タンパク質間相互作用	
禾 見和 (横浜市大・院生命医科学)	
2W9-7 (2P-0722)	[14:55]
インターロイキン-1受容体ファミリータンパク質による中枢シナプス形成の調節機構	
吉田 知之 ^{1,2} , 城島 知子 ^{3,7} , 山崎 真弥 ⁴ , 阿部 学 ⁴ , 山形 敦史 ^{3,7} , 深井 周也 ^{3,7} , 森 寿 ¹ , 崎村 建司 ⁴ , 岩倉 洋一郎 ⁵ , 三品 昌美 ⁶ (¹ 富山大・医・分子神経科学, ² さきがけ・科学技術振興機構, ³ 東大・放射光・生命科学・構造生物学, ⁴ 新潟大・脳研・細胞神経生物学, ⁵ 東京理大・生命研・実験動物, ⁶ 立命館大・総合科学技術研究機構, ⁷ 戦略的創造研究推進事業・科学技術振興機構)	
2W9-8 (2P-0723)	[15:15]
C1qファミリー分子Cbln1とその受容体であるグルタミン受容体GluR δ2とneurexinによる小脳シナプス形成の調節	
植村 健 (信大・医)	
総合討論	[15:35]
Conclusion	[15:40]
前仲 勝夫 (北海道大学大学院薬学研究院)	

2W10 第10会場(4階 413)	13:15-15:45 [E]
Scaling growth linking cell, organ, and whole organism in animals and plants	
Organizers : Takashi Nishimura (RIKEN, CDB) Tadashi Uemura (Grad. Sch. of Biostud., Univ. of Kyoto)	
2W10-1 (2P-0549)	[13:15]
Scaling growth of neuronal dendritic arbors	
Tadashi Uemura ¹ , Kohei Shimono ¹ , Hanae Komai ¹ , Shiori Ohwatari ¹ , Taiichi Tsuyama ¹ , Atsushi Toyoda ² (¹ Grad. Sch. of Biostud., Univ. of Kyoto, ² Ctr. for Info. Biol., Natl. Inst. of Genet.)	
2W10-2 (2P-0550)	[13:35]
Regulation of cell size by 26S proteasome in Arabidopsis	
Kaori Sako ¹ , Motoaki Seki ¹ , Junji Yamaguchi ² (¹ RIKEN CSRS, ² Res. Fac. of Life Sci., Hokkaido Univ.)	
2W10-3 (2P-0551)	[13:50]
Body shape regulation by extracellular matrix proteins in <i>Drosophila</i>	
Reiko Tajiri ^{1,2} , Haruhiko Fujiwara ¹ , Tetsuya Kojima ¹ (¹ Grad. Sch. of Front. Sci., Univ. of Tokyo, ² JSPS Postdoctoral Research Fellow)	
2W10-4 (2P-0552)	[14:05]
A feedback mechanism from neurons to progenitors regulates cortical layer proportion	
Fumio Matsuzaki ¹ , Atsunori Shitamukai ¹ , Daijiro Konno ¹ , Tomomi Shimogori ² , Shinji Takada ³ (¹ RIKEN CDB, ² RIKEN BSI, ³ Natl. Ins. Nat. Sci.)	

2W10-5 (2P-0553) [14:25]

Epidermis-derived signals control plant organ growth

Masaaki Umeda, Takashi Nobusawa (Grad. Sch. of Biol. Sci., NAIST)

2W10-6 (2P-0554) [14:45]

SDR regulates body size and brain size in the opposite direction in *Drosophila*

Takayuki Yamada, Naoki Okamoto, Takashi Nishimura (RIKEN, CDB)

2W10-7 (2P-0555) [15:05]

Spatiotemporal control of cell proliferation activity in a heterogeneous field of protein diffusivity in plantsKensuke Kawade¹, Hirokazu Tanimoto², Tomomichi Fujita¹ (¹Dept. of Biol. Sci., Fac. of Sci., Hokkaido Univ., ²Institut Jacques Monod)

2W10-8 (2P-0556) [15:20]

Scaling of Dorsal-Ventral Patterning by Embryo SizeHidehiko Inomata¹, Tatsuo Shibata², Yoshiki Sasa³ (¹Axial Pattern Dynamics, CDB, RIKEN, ²Physical Biology, CDB, RIKEN, ³Organogenesis and Neurogenesis, CDB, RIKEN)

Discussion [15:40]

2W11 第11会場(4階 414+415) 13:15-15:45 [J/E]

生態進化発生学(Eco-Evo-Devo)とは言うけどもオーガナイザー：入江直樹(東大・院理・生物科学)
荻野肇(長浜バイオ大学 アニマルバイオサイエンス学科)

Introduction [13:15]

荻野肇(長浜バイオ大学 アニマルバイオサイエンス学科)

2W11-1 (2P-0659) [13:18]

動物進化と個体発生の統合的理解に向けて入江直樹¹, consortium Joint turtle genomes^{2,3,4,9,10,11,12}, Philipp Khaitovich⁶, Song Guo⁷, Haiyang Hu⁶, 倉谷滋², Jr-Kai Yu-Sky⁷, 笹川洋平⁸, 島井光太郎⁵, 日下部岳広⁵, Fang Li³, Shiping Liu³, Guojie Zhang³ (¹東大・院理・生物科学, ²理研・CDB, ³BGI-Shenzhen, ⁴Dept. of Biol., Eco. and Evol., Univ. of Copenhagen, ⁵甲南大・院自然・生物, ⁶Partn. Inst. for Compt. Biol., ⁷Inst. of Cell. and Organismic Biol., Academia Sinica, ⁸理研・情報基盤, ⁹Wellcome Trust Sanger Inst., ¹⁰European Bioinformatics Inst., ¹¹基生研, ¹²King Abdulaziz Univ.)

2W11-2 (2P-0660) [13:39]

鳥類を特徴づける形態と発生機構とゲノム配列

田村宏治(東北大・院生命科学)

2W11-3 (2P-0661) [14:00]

新環境への進出を支える遺伝基盤：植物を餌とする昆虫の研究から

大島一正(京都府大・院生命環境)

2W11-4 (2P-0662) [14:21]

全ゲノム倍化直後の脊椎動物胚の遺伝子発現動態越智陽城¹, 荻野肇² (¹山形大学 医学部 メディカルサイエンス推進研究所, ²長浜バイオ大学 アニマルバイオサイエンス学科)

2W11-5 (2P-0663) [14:36]

進化的に拡張されたシグナルネットワークをリン酸化モチーフの比較進化解析で明らかにする吉崎尚良¹, 奥田修二郎² (¹金医大・病理I, ²新潟大・院医歯・バイオンフォ)

2W11-6 (2P-0664) [14:51]

イトヨにおける平行的に生じた日長応答性の喪失とその分子遺伝機構

石川麻乃, 北野潤(遺伝研・生態遺伝)

2W11-7 (2P-0665) [15:06]

ゲノム解読とRNA-seqによるアゲハチョウの食草選択に関わる化学感覚遺伝子候補の探索尾崎克久¹, 小寺正明², 武藤愛³ (¹JT生命誌研究館, ²東京工大, ³奈良先端大)

演者による未解決問題の提示と議論

[15:21]

入江 直樹 (東大・院理・生物学)

2W12 第12会場(4階 416+417)
13:15-15:45 [J]
オルガネラストレスが紡ぐ生活習慣病

 オーガナイザー：稲城 玲子 (東大・院医・CKD病態生理学)
 吉田 秀郎 (兵庫県大・生命理学)

Introduction

[13:15]

稲城 玲子 (東大・院医・CKD病態生理学)

2W12-1 (2P-0354)

[13:16]

オルガネラストレスと蛋白恒常性

稲城 玲子 (東大・院医・CKD病態生理学)

2W12-2 (2P-0355)

[13:29]

メダカ初期発生過程における小胞体ストレスセンサーの役割

森 和俊 (京大・院理・生物物理)

2W12-3 (2P-0356)

[13:47]

小胞体ストレスによるレプチン抵抗性・肥満形成機構とその制御薬の探索

細井 徹, 森 光平, 末澤 隆浩, 馬場 幸子, 豊田 圭亮, 小澤 光一郎 (広島大・医歯薬保健学研究院・治療薬効)

2W12-4 (2P-0357)

[14:05]

還元酵素Erdj5を介した小胞体恒常性維持機構の解明

潮田 亮, 川崎 邦人, 永田 和宏 (京産大・総合生命・分子細胞)

2W12-5 (2P-0358)

[14:15]

褐色脂肪細胞活性化及び細胞分化における小胞体ストレス応答の役割

浅田 梨絵, 今泉 和則 (広大・院医歯薬保・分子細胞情報学)

2W12-6 (2P-0359)

[14:25]

小胞体ストレス応答不全による糖尿病発症機構の解明

 斉藤 美知子^{1,2}, 土屋 雄一¹, 岩脇 隆夫³, 森 和俊⁴, 宮崎 純一⁵, 河野 憲二¹ (¹奈良先端大・バイオ, ²株式会社東芝 研究開発センター, ³群馬大・先端科学ユニット, ⁴京大・院理・生物物理, ⁵阪大・医学系研究科)

2W12-7 (2P-0360)

[14:35]

肥満や糖尿病における小胞体ストレスなどでリン酸化されるeIF2 α の組織特異的作用の解明

三宅 雅人, 倉橋 清衛, 張 君, 津川 和江, 宮本 千伸, 親泊 美帆, 親泊 政一 (徳島大・ゲノム・生体機能)

2W12-8 (2P-0361)

[14:45]

ゴルジ体ストレス応答による糖鎖修飾の制御

緑 佐智子, 村田 あゆみ, 川井 夢人, 山本 真由, 向井 美穂, 太田 香織, 桐村 朋奈, 大西 真駿, 田中 雄大, 荒川 佳穂, 吉川 和宏, 若林 貞夫, 谷口 麻衣, 吉田 秀郎 (兵庫県大・生命理学)

2W12-9 (2P-0362)

[14:54]

ゴルジストレス特異的発現変動因子の機能解析

 宮田 信吾¹, 遠山 正彌^{1,2} (¹近大・東医・分子脳科学, ²大阪府立病院機構)

2W12-10 (2P-0363)

[15:04]

選択的オートファジーによる小胞体の分解機構

 持田 啓佑¹, 及川 優², 木村 弥生³, 平野 久³, 大隅 良典², 中戸川 仁^{1,2} (¹東工大・生命・生体システム, ²東工大・フロンティア, ³横浜市立大・先端医科学研究センター)

2W12-11 (2P-0364)

[15:14]

Rab7によるミトコンドリア選択的オートファジーの制御

山野 晃史, Richard J. Youle (NINDS/NIH)

2W12-12 (2P-0365)	[15:24]
PINK1によりリン酸化されたK63結合型ユビキチン鎖は、Parkinをミトコンドリアへ局在化させる 今居 謙 ^{1,2} , 柴 佳保里 ² , 荒野 拓 ¹ , 松本 弦 ³ , 井下 強 ¹ , 吉田 繁治 ⁴ , 石濱 泰 ¹ , Kwon-Yul Ryu ⁵ , 貫名 信行 ³ , 服部 信孝 ^{1,2,3} (¹ 順大・院医・パーキンソン, ² 順大・院医・神経学, ³ 順大・院医・神経変性, ⁴ 京大・院薬・製剤機能解析, ⁵ ソウル大・生命科学)	
2W12-13 (2P-0366)	[15:43]
慢性腎臓病において低酸素が酸化ストレス障害に拮抗する新規分子機構 田中 哲洋, 田中 真司, 山口 純奈, 東島 佳毅, 南学 正臣 (東大・院医・腎内)	
Conclusion	[15:44]
吉田 秀郎 (兵庫県大・生命理学)	
<hr/>	
2W13 第13会場(4階418)	13:15-15:45 [J]
人工デザインによる分子認識の最前線—Scaffoldを中心として—	
オーガナイザー: 久保 泰 (産総研・創薬分子RC) 根本 直人 (埼玉大・理工研)	
Introduction	[13:15]
久保 泰 (産総研・創薬分子RC)	
2W13-1 (2P-0902)	[13:20]
加速進化型ペプチドのscaffoldに基づく多能性ペプチドライブラリの構築と標的特定の分子の創製 久保 泰 (産総研・創薬分子RC)	
2W13-2 (2P-0903)	[13:35]
ペプチドから抗体そしてインターフェイス分子への階層設計: ナノ世界の糊として 梅津 光央 (東北大・院工・バイオ工)	
2W13-3 (2P-0904)	[13:58]
アルバカ免疫・非免疫抗体ライブラリからの抗原特異的なVHHフラグメントの選別と特性解析 伊東 祐二 ¹ , 岸本 聡 ¹ , 宮崎 誠生 ² , 萩原 義久 ³ , 松田 知成 ⁴ (¹ 鹿児島大・院理工・生命化学, ² アーク・リソース(株), ³ 産総研, ⁴ 京都市大・流域圏総合環境センター)	
2W13-4 (2P-0905)	[14:21]
マイクロ抗体: 立体構造規制ペプチドライブラリー法による分子標的ペプチドの創出 藤井 郁雄 (大阪府大・院理・生物科学)	
2W13-5 (2P-0906)	[14:44]
計算科学を用いた機能性抗体ペプチドのファルマコフォア解析 広川 貴次 (産総研・創薬プロ研)	
2W13-6 (2P-0907)	[15:03]
In vitro selection of a minimal protein-like scaffold from a de novo macrocyclic peptide library Chris J Hipolito ¹ , Yoshiaki Tanaka ² , Osamu Nureki ² , Hiroaki Suga ¹ (¹ Dept. of Chem., Grad. Sch. of Sci., Univ. of Tokyo, ² Dept. of Biophys. and Biochem., Grad. Sch. of Sci., Univ. of Tokyo)	
2W13-7 (2P-0908)	[15:18]
試験管内選択により取得されたジスルフィドリッチペプチドアプタマーは分子認識スキャフォールドとなりうるか? 望月 佑樹, 根本 直人 (埼玉大・理工研)	
Conclusion	[15:33]
根本 直人 (埼玉大・理工研)	

2W14 第14会場(4階419) 13:15-15:45 [J]

動植物における生殖戦略とその分子基盤

オーガナイザー：北野 潤 (国立遺伝学研究所)
 渡辺 正夫 (東北大学大学院生命科学研究所)

Introduction [13:15]

渡辺 正夫 (東北大学大学院生命科学研究所)

2W14-1 (2P-0197) [13:20]

植物の自家不和合性機構の多様性と進化

久保 健一, 円谷 徹之, 岩野 恵, 高山 誠司 (奈良先端大・バイオサイエンス)

2W14-2 (2P-0198) [13:40]

活性酸素-カルシウムシグナルネットワークによる植物の生殖・発生の制御枋津 和幸¹, 橋本 研志¹, 賀屋 秀隆¹, 木村 幸恵¹, 河原崎 朋子¹, 数田 渉二¹, 北畑 信隆¹, 石崎 公庸², 西浜 竜一³, 河内 孝之³
 (¹東京理科大・理工・応用生物学, ²神戸大・理, ³京大・生命科学)

2W14-3 (2P-0199) [13:55]

倍數性コムギの花器官形成ABCDEモデルにおける同祖遺伝子使い分けパターン村井 耕二¹, 田中 美久¹, 宅見 薫雄² (¹福井県大・生物資源, ²神戸大院・農学)

2W14-4 (2P-0200) [14:10]

ホメオログハイパス：異質倍数体の発現解析における新たなサイレンシングの概念の提案赤間 悟^{1,2}, 清水(稲継) 理恵³, 清水 健太郎³, 瀬々 潤^{2,4} (¹東工大・地球生命研, ²産総研・ゲノム情報, ³チューリッヒ大・理・進化環境研, ⁴お茶大・院・人間文化創成科学)

2W14-5 (2P-0201) [14:25]

性染色体進化がトゲウオ適応放散に果たす役割

北野 潤 (国立遺伝学研究所)

2W14-6 (2P-0202) [14:45]

ミトコンドリアで機能する蛋白質の遺伝子パラログによるショウジョウバエ生殖戦略への貢献

杉山 伸 (名大・院理・生命理学)

2W14-7 (2P-0203) [15:00]

植物の雌雄細胞間の相互作用をになう鍵分子群：花粉管ガイダンスを中心に東山 哲也^{1,2,3} (¹名大・ITbM, ²JST・ERATO, ³名大・院理・生命理学)**総合討議** [15:20]**Conclusion** [15:40]

北野 潤 (国立遺伝学研究所)

2W15 第15会場(5階501) 13:15-15:45 [J]

DNA修復プロセッシングとゲノムダイナミクス

オーガナイザー：中別府 雄作 (九大・生医研・脳機能制御学/九大・ヌクレオチドプール研究センター)
 石川 冬木 (京大・院・生命科学)

2W15-1 (2P-0158) [13:15]

Immunoglobulin gene diversification by Topoisomerase 1 (Top1) under the control of activation-induced cytidine deaminase (AID)

Maki Kobayashi, Tasaku Honjo (Dept. of Immunol. and Genomic Med., Grad. Sch. of Med., Kyoto Univ.)

2W15-2 (2P-0159) [13:35]

ほ乳動物ゲノムにおける8-オキソグアニンの修復プロセッシングと細胞運命岡 素雅子^{1,2}, Zijng Sheng^{1,2}, 作見 邦彦^{1,2}, 中別府 雄作^{1,2} (¹九大・生医研・脳機能制御学, ²九大・ヌクレオチドプール研究センター)

2W15-3 (2P-0160)	[13:50]
細胞周期とNBS1機能がDNA二重鎖切断修復効率と精度に与える影響	
田内 広 ¹ , 坂本 裕貴 ¹ , 穀田 哲也 ¹ , 大川 沙織 ¹ , 小林 健太 ¹ , 小林 純也 ² , 飯島 健太 ³ , 小松 賢志 ³ (¹ 茨城大・理・生物科学, ² 国立国際医療センター, ³ 京大・放生研)	
2W15-4 (2P-0161)	[14:05]
DDB2-dependent HBO1 recruitment is essential for repair of UV-induced cyclobutane pyrimidine dimer	
丹伊田 浩行 ¹ , 松沼 亮一 ¹ , 荻 朋男 ² , 森脇 真一 ³ , 北川 雅敏 ¹ (¹ 浜松医科大・医・分子生物, ² 長崎大学, ³ 大阪医科大学)	
2W15-5 (2P-0162)	[14:20]
分裂酵母Stn1の染色体構造維持における役割	
滝川 雅大, 樽本 雄介, 石川 冬木 (京大・院・生命科学)	
2W15-6 (2P-0163)	[14:35]
体細胞における多重DNA二本鎖切断がもたらすゲノム再編成	
太田 邦史 (東京大学大学院総合文化研究科)	
2W15-7 (2P-0164)	[14:55]
生細胞イメージングを用いたDNA損傷修復過程におけるヒストン修飾動態とクロマチン凝集の解析	
大倉 健太 ¹ , Stasevich J. Timothy ¹ , 林 陽子 ¹ , 井倉 毅 ² , 木村 宏 ² (¹ 阪大・生命機能, ² 東工大・生命理工, ³ 京大・放射線生物センター)	
2W15-8 (2P-0165)	[15:10]
細胞核内の凝縮したクロマチンドメイン構造と放射線耐性	
前島 一博 ¹ , 今井 亮輔 ¹ , 野崎 慎 ² , 高田 英昭 ³ , 森 利明 ⁴ , 志村 まり ⁵ , 吉川 祐子 ⁶ (¹ 国立遺伝研, ² 慶応大, ³ 大阪大学, ⁴ 大阪府立大, ⁵ 国立国際医療センター, ⁶ 立命館大)	
2W15-9 (2P-0166)	[15:30]
DNA二本鎖切断の核膜結合部位決定におけるクロマチン再構成の役割	
堀籠 智洋 ¹ , 尾間 由佳子 ² , 小西 辰紀 ² , Roger Schmid ^{1,4} , Isabella Marcomini ^{1,3} , Michael Hauer ^{1,3} , Vincent Dion ^{1,5} , 原田 昌彦 ² , Susan M. Gasser ^{1,3} (¹ フリードリッヒ・ミーシャー医学生理学研究所, ² 東北大学大学院分子生物学分野, ³ パーゼル大学自然科学部, ⁴ チューリッヒ大学植物生物学研究所, ⁵ ローザンヌ大学)	
2W16 第16会場(5階502)	13:15-15:45 [J]
がんの代謝の分子メカニズム	
オーガナイザー: 曾我 朋義 (慶大・先端生命研) 佐谷 秀行 (慶應大・医・先端研)	
2W16-1 (2P-0764)	[13:15]
がん幹細胞の代謝特性	
佐谷 秀行 (慶應大・医・先端研)	
2W16-2 (2P-0765)	[13:40]
RBがん抑制遺伝子の代謝制御機構	
高橋 智聡 (金沢大・がん研・腫瘍分子)	
2W16-3 (2P-0766)	[14:05]
細胞分化や老化に伴う、ビルビン酸キナーゼMアイソフォームの発現制御	
野村 美有樹 ¹ , 坂本 良美 ¹ , 伊藤 しげみ ¹ , 片倉 隆一 ¹ , 椎葉 健一 ¹ , 松本 祥子 ² , 渡邊 利雄 ² , 鳥 礼 ¹ , 田沼 延公 ¹ (¹ 宮城がんセンター・がん薬物療法, ² 奈良女大院)	
2W16-4 (2P-0767)	[14:20]
E3リガーゼRNF126はTCAサイクルへの代謝フラックスと腫瘍増殖を制御する	
芳野 聖子 ^{1,2} , 清水 元治 ^{1,3} , 坂本 毅治 ^{1,2} (¹ 東大・医科研・腫瘍細胞社会学, ² 東大・医科研・人癌病因遺伝子, ³ 高知大・医附病院・次世代医療創造センター)	
2W16-5 (2P-0768)	[14:35]
オンコメタボライトとがんの代謝	
曾我 朋義 (慶大・先端生命研)	

2W16-6 (2P-0769)	[15:00]
腫瘍微小環境におけるエピゲノム制御を介したオンコメタボライトの解析	
大澤 毅 ¹ , 島村 徹平 ² , 近藤 彩乃 ³ , 南 敬 ¹ , 宮野 悟 ⁴ , 油谷 浩幸 ¹ , 兄玉 龍彦 ¹ , 澁谷 正史 ⁵ (¹ 東京大学 先端科学技術研究センター システム生物医学, ² 名古屋大学 大学院医学研究科 システム生物学, ³ 東京大学 先端科学技術研究センター ゲノムサイエンス分野, ⁴ 東京大学 医科学研究所 ヒトゲノム解析センター, ⁵ 上武大学)	
2W16-7 (2P-0770)	[15:15]
癌細胞内代謝の細胞外微小環境への適応におけるヒストン脱メチル化酵素LSD1の役割	
坂元 顕久, 日野 信次朗, 長岡 克弥, 阿南 浩太郎, 高瀬 隆太, 中尾 光善 (熊本大・発生研・細胞医学)	
2W16-8 (2P-0771)	[15:30]
GTPエネルギーを感知するキナーゼの同定と癌における役割	
佐々木 敦朗 ¹ , 竹内 恒 ² , 壽美田 一貴 ¹ , Lo Yu-Hua ³ , 千田 美紀 ³ , 寺川 純平 ³ , 大黒 多希子 ⁵ , Lewis Cantley ⁴ , 千田 俊哉 ³ (¹ シンシナティ大・癌研究所, ² 産総研, ³ 高エネルギー研究所, ⁴ コーネル大, ⁵ シンシナティ小児病院)	
2W17 第17会場(5階 503)	13:15-15:45 [J/E]
クロマチンのエピジェネティック制御と創薬	
オーガナイザー: 胡桃坂 仁志 (早大・先進理工) 米田 悦啓 (医薬基盤研)	
2W17-1 (2P-0204)	[13:15]
ヌクレオボリンNup98-Hox融合タンパク質による発がんメカニズムの解析	
岡 正啓 ¹ , Percival Sangel ¹ , 山田 幸司 ¹ , 大川 恭行 ³ , 木村 宏 ² , 米田 悦啓 ¹ (¹ 医薬基盤研, ² 東工大, ³ 九大)	
2W17-2 (2P-0205)	[13:31]
アリル特異的ChIP-seq法によるマウス不活性化X染色体のクロマチン動態の解明	
長尾 恒治 ¹ , 柴田 幸子 ¹ , 野澤 竜介 ¹ , 木村 宏 ² , 佐渡 敬 ³ , 小布施 力史 ¹ (¹ 北大・先端生命, ² 東工大・生命理工, ³ 近大・農)	
2W17-3 (2P-0206)	[13:43]
Structure-based development of inhibitors targeting histone demethylase LSD1/KDM1	
Takashi Umehara ^{1,2,3} , Shigeyuki Yokoyama ^{2,4} (¹ RIKEN CLST, ² RIKEN SSBC, ³ JST PRESTO, ⁴ RIKEN Struct. Biol. Lab.)	
2W17-4 (2P-0207)	[13:55]
慢性炎症による異常DNAメチル化誘発におけるTetタンパク質の役割	
竹島 秀幸, 丹羽 透, 若林 美香, 牛島 俊和 (国立がん研セ・研・エピゲノム)	
2W17-5 (2P-0208)	[14:07]
がんの可塑性に関わるポリコムタンパク複合体を標的とした治療薬の開発	
新城 恵子, 近藤 豊 (名市大・院医・遺伝子制御学)	
2W17-6 (2P-0209)	[14:23]
ハイコンテントスクリーニングによる核小体制御因子の同定とその分子機構の解明	
松森 はるか, 徳永 和明, 中尾 光善, 齊藤 典子 (熊本大・発生研)	
2W17-7 (2P-0210)	[14:35]
SWI/SNF複合体の触媒サブユニットBrmとmiR-199aが上皮がん細胞株において形成する遺伝子発現制御ネットワークとその生物学的機能	
小林 和善 ¹ , 櫻井 浩平 ¹ , 平松 寛明 ¹ , 中村 真也 ¹ , 小林 郷介 ¹ , 原口 健 ¹ , 塩竈 和也 ² , 稲田 健一 ² , 伊庭 英夫 ¹ (¹ 東大・医科研・宿主寄生体学, ² 藤田保健衛生大・医学部・第一病理学)	
2W17-8 (2P-0211)	[14:47]
人工触媒システムによる染色体の合成的アセチル化	
川島 茂裕 ^{1,2} , 朱 海燕 ^{1,2} , 天本 義史 ^{1,2} , 山次 健三 ^{1,2} , 金井 求 ^{1,2} (¹ 東大・薬, ² ERATO金井分子触媒プロジェクト)	
2W17-9 (2P-0212)	[14:59]
破骨細胞のエピジェネティック制御の解明と創薬応用	
西川 恵三, 岩本 依子, 石井 優 (阪大・免プロ・免疫細胞生物学)	

2W17-10 (2P-0213)	[15:11]
ヒストンH3バリエーションの多様性 大川 恭行 (九大・院医・先端医療医学部門)	
2W17-11 (2P-0214)	[15:23]
がんなどの疾病の原因となる特殊なヌクレオソーム構造とエピジェネティクス 胡桃坂 仁志 (早大・先進理工)	
Conclusion	[15:39]
胡桃坂 仁志 (早大・先進理工)	
2W18 第18会場(5階 511+512)	13:15-15:45 [J]
生命の3大ドメインの分子生物学から考察する遺伝情報制御系の原型	
オーガナイザー：金井 昭夫 (慶大・先端生命研/慶大・環境情報) 石野 良純 (九大院・農)	
Introduction	[13:15]
金井 昭夫 (慶大・先端生命研/慶大・環境情報)	
2W18-1 (2P-0042)	[13:20]
好熱性アーキアの遺伝情報維持に関わる分子機構研究の進展 石野 良純 (九大院・農)	
2W18-2 (2P-0043)	[13:40]
セカンドメッセンジャーの細胞周期依存的ダイナミクスは<i>C. crescentus</i>のゲノム複製と細胞分裂を駆動する 尾崎 省吾, Christian Lori, Samuel Steiner, Urs Jenal (バーゼル大・バイオセンター)	
2W18-3 (2P-0044)	[13:56]
ユリアーキアRNAポリメラーゼのX線結晶構造から視えた真核生物RNAポリメラーゼII構造の進化 平田 章 ¹ , Sung-Hoon Jun ² , 金井 保 ³ , Thomas J. Santangelo ⁴ , 今中 忠行 ⁵ , 村上 勝彦 ² (¹ 愛媛大・院理工・物質生命, ² 米国ペンシルバニア州立大・分生化, ³ 京大・院工・合成化学, ⁴ 米国コロラド州立大・分生化, ⁵ 立命・生命)	
2W18-4 (2P-0045)	[14:12]
RNAポリメラーゼIII転写装置の進化 松谷 佐知子 (国立衛研・微生物)	
2W18-5 (2P-0046)	[14:28]
超好熱性アーキアにおける新規転写制御因子の同定 跡見 晴幸 ^{1,2} , 山本 康之 ¹ , 吉田 晃 ¹ , 金岡 剛史 ¹ , 今中 忠行 ^{2,3} , 金井 保 ^{1,3} (¹ 京大・院工・合成生化, ² 立命館大・生命・生物工, ³ JST, CREST)	
2W18-6 (2P-0047)	[14:48]
リボソームストークと翻訳因子間相互作用研究の新展開 内海 利男, 鈴木 隆寛, 村上 僚, 今井 大達, 三好 智博, 伊東 孝祐 (新潟大・理・生物)	
2W18-7 (2P-0048)	[15:08]
遺伝情報制御系の基盤たるtRNA分子の進化について 金井 昭夫 (慶大・先端生命研/慶大・環境情報)	
2W18-8 (2P-0049)	[15:24]
ARS: アミノシルtRNA合成酵素の分子系統解析から見た、全生物の進化 山岸 明彦, 古川 龍太郎, 横堀 伸一 (東薬大・生命)	
Conclusion	[15:40]
石野 良純 (九大院・農)	

第3日目11月27日(木)

3W2	第2会場(3階 301)	13:15-15:45 [J]
マルチサブユニット複合体の構造と機能の解析		
オーガナイザー：堀越 正美 (東大・分生研・発生分化構造) 西村 善文 (横浜市大・院生命医)		
Introduction [13:15]		
堀越 正美 (東大・分生研・発生分化構造)		
3W2-1	(3P-0043)	[13:22]
複数のマルチサブユニット複合体に共通に存在するサブユニットの機能解析		
堀越 正美 (東大・分生研・発生分化構造)		
3W2-2	(3P-0044)	[13:42]
2A自己開裂ペプチドを用いたインフルエンザウイルスRNAポリメラーゼのポリシストロニック発現		
百瀬 文隆, 森川 裕子 (北里大・院・感染制御科学府)		
3W2-3	(3P-0045)	[13:57]
キノヘムプロテイン・アミン脱水素酵素γサブユニットの多段階翻訳後修飾機構		
岡島 俊英, 中井 志志, 出口 貴文, 谷澤 克行 (阪大・産研)		
3W2-4	(3P-0046)	[14:12]
マルチサブユニット緊留因子複合体の全体構造決定へのアプローチ		
深井 周也 ^{1,2} (1東大・放射光, 2東大・分生研)		
3W2-5	(3P-0047)	[14:32]
CCR4-NOT脱アデニル化酵素複合体構成因子CNOT3のmRNA分解を介した細胞制御		
鈴木 亨, 菊口 千智, 徳増 美穂, 山本 雅 (沖縄科学技術大学院大学・細胞シグナル)		
3W2-6	(3P-0048)	[14:47]
PI3キナーゼの複合体特異的機能、構成因子と制御		
荒木 保弘 ¹ , 石濱 泰 ² , 大隅 良典 ¹ (1東工大・フロンティア, 2京大・薬)		
3W2-7	(3P-0049)	[15:02]
無細胞翻訳系による SecYEG トランスロコンの合成		
松林 英明 ¹ , 車 ゆうてつ ² , 上田 卓也 ¹ (1東大・院新領域・メディカルゲノム, 2東工大・地球生命研)		
3W2-8	(3P-0050)	[15:17]
ヒストン多量体とヌクレオソームの構造		
西村 善文 (横浜市大・院生命医)		
Conclusion [15:37]		
西村 善文 (横浜市大・院生命医)		

3W3	第3会場(3階 302)	13:15-15:45 [E]
Regulation of cellular processes by noncoding RNAs		

Organizers : Shinichi Nakagawa (RIKEN Advanced Science Institute)
Kojiro Ishii (Graduate School of Frontier Biosciences, Osaka University)

Introduction [13:15]		
-----------------------------	--	--

Shinichi Nakagawa (RIKEN Advanced Science Institute)

3W3-1	(3P-0246)	[13:20]
--------------	-----------	---------

Molecular machinery for germline small RNA biogenesis

Ramesh S. Pillai, Yang Zhaolin, Chen Kuan-Ming, Reuter Michael (European Molecular Biology Laboratory, Grenoble Outstation, France)

3W3-2 (3P-0247) [13:40]
Functional analysis of piRNA biogenesis using artificial piRNA production systems

Hirotsugu Ishizu¹, Yuka W. Iwasaki², Shigeki Hirakata¹, Tsukasa Fukunaga², Haruka Ozaki², Hisanori Kiryu², Wataru Iwasaki^{1,2}, Haruhiko Siomi³, Mikiko C. Siomi¹ (¹Dept. of Biol. Sci., Grad. Sch. of Sci., Univ. of Tokyo, ²Dept. of Comp. Biol., Grad. Sch. of Front. Sci., Univ. of Tokyo, ³Dept. of Mol. Biol., Keio Univ. Sch. of Med.)

3W3-3 (3P-0248) [13:55]
Complementary sequence-mediated exon circularization

Xiao-Ou Zhang¹, Hai-Bin Wang², Yang Zhang², Ling-Ling Chen², **Li Yang¹** (¹Key Laboratory of Computational Biology, CAS-MPG Partner Institute for Computational Biology, Shanghai Institutes for Biological Sciences, Chinese Academy of Sciences, ²State Key Laboratory of Molecular Biology, Institute of Biochemistry and Cell Biology, Shanghai Institutes for Biological Sciences, Chinese Academy of Sciences)

3W3-4 (3P-0249) [14:15]
A novel domain of topoisomerase II β regulates nuclear dynamics and catalytic activity of the enzyme by binding to RNA

Kimiko M. Tsutsui¹, Osamu Hosoya¹, Akihisa Onoda¹, Kuniaki Sano¹, Hiroshi Kimura², Mary Miyaji¹, Ken Tsutsui¹ (¹Dept. of Neurogenomics, Grad. Sch. of Med., Okayama Univ., ²Dept. Biol. Sci., Grad. Sch. Biosci. Biotech., Tokyo Inst. Tech.)

3W3-5 (3P-0250) [14:30]
A role for chromosomal RNA bodies in fission yeast meiosis

Da-Qiao Ding², Tokuko Haraguchi^{1,2}, **Yasushi Hiraoka^{1,2}** (¹Grad. Sch. FBS, Osaka Univ., ²NICT)

3W3-6 (3P-0251) [14:50]
Activation of the ESR1 locus with novel non-coding RNA cloud in breast cancer cell

Noriko Saitoh, Saori Tomita, Mohamed O. Abdalla, Saori Fujiwara, Haruka Matsumori, Mitsuyoshi Nakao (Kumamoto Univ. IMEG)

3W3-7 (3P-0252) [15:05]
Genome rearrangement in cancer cells caused by replication fork stalling that is associated with long non-coding RNA transcription

Takaaki Watanabe¹, Michael Marotta², Scott J Diede³, Atsushi Niida⁴, Stephen J Tapscott³, Anna Kondratova², Hisashi Tanaka¹ (¹Dept. of Surgery, Cedars-Sinai Medical Center, ²Dept. of Mol. Genet., Cleveland Clinic Lerner Res. Inst., ³Div. of Human Biol., Fred Hutchinson Cancer Res. Center, ⁴Inst. of Med. Sci., Univ. of Tokyo)

3W3-8 (3P-0253) [15:20]
Evolutionary trajectories of long noncoding RNAs in vertebrate genomes

Igor Ulitsky (Weizmann Institute of Science, Israel)

Conclusion [15:40]

Kojiro Ishii (Graduate School of Frontier Biosciences, Osaka University)

3W4 第4会場(3階303) 13:15-15:45 [J]
生命活動を支える高次複合体の動態と機能

オーガナイザー：千葉 志信(京産大・総合生命)
大橋 英治(九大・理・生物)

Introduction [13:15]

千葉 志信(京産大・総合生命)

3W4-1 (3P-0294) [13:18]
大腸菌染色体の複製開始複合体を形成するDnaAタンパク質の多量体構造と動態の解析

片山 勉¹, 野口 泰徳¹, 崎山 友香里¹, 赤間 勇介¹, 藤光 和之^{1,2}, 加生 和寿¹, 川上 広宣¹ (¹九大・院薬・分子生物, ²(現)英国UCLがん研)

3W4-2 (3P-0295) [13:33]
PCNAとXCo2はDNA複製と協調したSororin染色体結合反応に機能する

高橋 達郎, 東 寅彦, 林 冨, 中川 拓郎, 升方 久夫(阪大・院理・生物科学)

3W4-3 (3P-0296)	[13:48]
大腸菌のSOS応答によるDNA複製フォークの進行速度の低下	
タン カンウエイ, ファム テュアン, 古郡 麻子, 真木 寿治, 秋山 昌広 (奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科)	
3W4-4 (3P-0297)	[14:02]
DNA損傷応答因子ATR-ATRIP、Rad9-Hus1-Rad1、TopBP1の3者間結合によるATR活性化機構	
大橋 英治, 武石 幸容, 釣本 敏樹 (九大・理・生物)	
3W4-5 (3P-0298)	[14:17]
哺乳類ヌクレオチド除去修復タンパク質XPCのDNA結合モードの1分子イメージング	
横田 浩章 ¹ , 戸根 大輔 ² , 大西 優貴 ² , 韓 龍雲 ³ , 原田 慶恵 ³ , 菅澤 薫 ^{2,4} (¹ 光産創大・光バイオ, ² 神戸大院・理, ³ 京大・iCeMS, ⁴ 神戸大・バイオシグナル研)	
3W4-6 (3P-0299)	[14:31]
酸化ストレスによるストレス顆粒形成の制御と疾患への関連	
松崎 (有本) 京子 ¹ , 武川 陸寛 ² , 斎藤 春雄 ¹ (¹ 東大・医科研・分子細胞情報, ² 東大・医科研・分子シグナル制御)	
3W4-7 (3P-0300)	[14:45]
YidCによるタンパク質膜組込機構の解明	
千葉 志信 ¹ , 熊崎 薫 ² , 塚崎 智也 ^{3,4} , 濡木 理 ² , 伊藤 維昭 ¹ (¹ 京産大・総合生命, ² 東大・院理・生物科学, ³ 奈良先端大・バイオ, ⁴ JST・さきがけ)	
3W4-8 (3P-0301)	[15:00]
イネ科葉緑体内包膜における蛋白質透過装置TICトランスロコンの同定	
小谷 佳子 ¹ , 風間 智彦 ¹ , 菊地 真吾 ¹ , 朝倉 由香里 ¹ , 鳥山 欽哉 ¹ , 中井 正人 ¹ (¹ 阪大・蛋白研, ² 東北大・院農)	
3W4-9 (3P-0302)	[15:14]
蛍光顕微鏡一体型高速原子間力顕微鏡を用いた生細胞の皮質アクチンネットワークの三次元構造・動態解析	
吉田 藍子, 出口 確, 桑田 昌宏, 吉村 成弘 (京大・院生命科学・統合生命科学)	
3W4-10 (3P-0303)	[15:28]
KIF13BはLRP1のカベオリン依存性エンドサイトーシスを促進する	
金井 克光, Daliang Wang, 廣川 信隆 (東大・院医・細胞生物)	
Conclusion	[15:42]
大橋 英治 (九大・理・生物)	
3W5 第5会場(3階 304)	13:15-15:45 [J/E]
ゲノムDNA複製制御のメカニズム：生物種を超えた統一像と多様性	
オーガナイザー：正井 久雄 (東京都医学研・ゲノム動態) 升方 久夫 (阪大・院理・生物科学)	
Introduction	[13:15]
正井 久雄 (東京都医学研・ゲノム動態)	
3W5-1 (3P-0110)	[13:16]
出芽酵母染色体DNAの複製開始機構	
荒木 弘之 ^{1,3} , 伊藤 啓 ^{2,3} , 矢倉 勝 ¹ , 村松 佐知子 ¹ , 牧野 仁志穂 ^{1,3} , 日詰 光治 ^{1,3} (¹ 微生物遺伝・遺伝研, ² 構造センター・遺伝研, ³ 総研大)	
3W5-2 (3P-0111)	[13:33]
出芽酵母ORC複合体の分子内外クロストークの同定	
川上 広宣 ¹ , 川西 智人 ¹ , 大橋 英治 ² , 釣本 敏樹 ² , 片山 勉 ¹ (¹ 九大院・薬・分子生物, ² 九大・理・生物)	
3W5-3 (3P-0112)	[13:47]
網羅的なChIPによるDNA複製開始反応の詳細な解析	
大浪 真由美 ¹ , 荒木 弘之 ^{1,2} , 田中 誠司 ^{1,2} (¹ 遺伝研・微生物, ² 総研大)	

3W5-4 (3P-0113)	[14:01]
好熱性アーキア<i>Thermoplasma acidophilum</i>におけるMCMヘリカーゼ複合体解析 尾木野 弘実 ¹ , 石野 園子 ¹ , Gyri Teien Haugland ² , Nils-Kåre Birkeland ² , 神田 大輔 ³ , 石野 良純 ¹ (¹ 九大院・生資環, ² Univ. of Bergen, ³ 九大・生医研)	
3W5-5 (3P-0114)	[14:15]
ヒトCtf18-RFCはPol εと複合体となって機能的にPCNAをロードする 藤澤 遼, 釣本 敏樹 (九大・理・生物科学・染色体機能学)	
3W5-6 (3P-0115)	[14:29]
大腸菌染色体のDnaA-ori非依存性複製に必要とされるゲノム領域 田中 卓 ¹ , 関 由美香 ¹ , 西藤 泰昌 ² , 正井 久雄 ¹ (¹ 東京大学医学部・ゲノム動態, ² 東京大学医学部・基盤技術研究センター)	
3W5-7 (3P-0116)	[14:43]
分裂酵母Replication originの活性化を制御するしくみ 半田 哲也 ¹ , 中村 優太 ¹ , 小川 志帆 ¹ , 藤保 祐樹 ¹ , 高橋 達郎 ¹ , 中川 拓郎 ¹ , 加納 純子 ² , 升方 久夫 ¹ (¹ 阪大・院理・生物科学, ² 阪大・蛋白研)	
3W5-8 (3P-0117)	[15:00]
BAFクロマチンリモデリング複合体による哺乳類DNA複製制御 竹林 慎一郎, 緒方 正人 (三重大学大学院医学系研究科 機能プロテオミクス分野)	
3W5-9 (3P-0118)	[15:17]
新規ヒストンシャペロンGRWD1はゲノムワイドにクロマチン制御を行い複製ライセンスを促進する 杉本のぞみ ¹ , 前原 一満 ² , 吉田 和真 ¹ , 安河内 周平 ¹ , 渡邊 心也 ¹ , 會澤 誠大 ¹ , 清野 透 ² , 胡桃坂 仁志 ⁴ , 大川 恭行 ² , 藤田 雅俊 ¹ (¹ 九大・院薬・医薬細胞生化学, ² 九大・院医・先端医療医学, ³ 国がん・研・ウイルス発がん, ⁴ 早稲田大・先進理工/理工研)	
3W5-10 (3P-0119)	[15:31]
複製フォークの停止・再開におけるレプリソーム動態制御 橋本 吉民, 田中 弘文 (東薬大・生命)	
<hr/> 3W6 第6会場(3階 311+312) 13:15-15:45 [J/E] 分子生物学の発展に貢献する次世代バイオイメージング技術の最前線 オーガナイザー: 大嶋 佑介 (愛媛大学) 片桐 崇史 (東北大学)	
3W6-1 (3P-0973)	[13:15]
IMPROVEMENT OF THE SPATIAL RESOLUTION OF TWO-PHOTON MICROSCOPY BY UTILIZING TRANSMISSIVE LIQUID CRYSTAL DEVICES 大友 康平 ^{1,2} , 日比 輝正 ^{1,2,3} , 小澤 祐市 ^{2,4} , 一本嶋 佐理 ^{1,3} , 横山 弘之 ^{2,5} , 佐藤 俊一 ^{2,4} , 根本 知己 ^{1,2,3} (¹ 北大・電子研, ² JST・CREST, ³ 北大・院・情報科学, ⁴ 東北大・多元研, ⁵ 東北大・NICHe)	
3W6-2 (3P-0974)	[13:35]
生きている細胞の内部構造を直接観察できる軟X線顕微鏡の開発 加道 雅孝 ¹ , 岸本 牧 ¹ , 保 智己 ^{2,3} , 安田 恵子 ^{2,3} , 青山 雅人 ⁴ , 刀祿 重信 ¹ , 藤原 邦夫 ^{1,5} (¹ 原子力機構・関西光科学研, ² 奈良女子大・研究院・自然科学, ³ 奈良女子大・理, ⁴ 川崎医科大学・生化学, ⁵ 東海大・工)	
3W6-3 (3P-0975)	[13:50]
表面増強ラマン散乱実用化に向けた測定基板とハイパースペクトラルイメージング装置の開発と評価 伊藤 民武 (産業技術総合研究所)	
3W6-4 (3P-0976)	[14:10]
ランタガを用いた低分子化合物の生細胞イメージング 関岡 孝介 ^{1,2,3} (¹ 理研, ² ERATO-JST, ³ CREST-JST)	
3W6-5 (3P-0977)	[14:30]
単量体型光増感蛍光タンパク質 SuperNova 松田 知己 ¹ , Emmy Tran ¹ , 竹本 研 ² , 坂井 直樹 ³ , 新井 由之 ¹ , 野田 勝紀 ⁴ , 内山 進 ⁴ , 永井 健治 ⁴ (¹ 阪大・産研, ² 横浜市大・院医・医学, ³ リユベック大・生化研, ⁴ 阪大・院工・先端生命)	

3W6-6 (3P-0978)	[14:45]
Structural and functional imaging by non-linear optics	
Satoshi Nishimura (Jichi Med Univ, the Univ of Tokyo)	
3W6-7 (3P-0979)	[15:00]
Voltage imaging in dendritic spines with genetically encoded indicators	
Masayuki Sakamoto, Taekyung Kwon, Inbal Ayzenshtat, Darcy Peterka, Rafael Yuste (Dept. of Biol. Sci., Columbia University)	
3W6-8 (3P-0980)	[15:15]
蛍光相互相関分光法を用いた生細胞内解離定数の定量	
定家 和佳子 ¹ , 松田 道行 ^{1,2} , 青木 一洋 ³ (¹ 京大・生命・生体制御, ² 京大・医・病態生物医学, ³ 京大・医・時空間イメージング拠点)	
3W6-9 (3P-0981)	[15:30]
局所遺伝子発現法 (IR-LEGO) の様々な生物種への応用 (基生研共同利用研究例の紹介)	
亀井 保博 ¹ , 斎田(谷口) 美佐子 ¹ , 兼子 拓也 ² , 島田 敦子 ² , 武田 洋幸 ² , 木村 英二 ³ , 浦和 博子 ⁴ , 山本 和彦 ⁵ , 鈴木 友美 ³ , 長谷 あきら ⁵ , 横山 仁 ⁶ , 林 真一 ⁶ , 林 利憲 ⁷ , 川住 愛子 ⁸ , 森下 喜弘 ⁸ (¹ 基生研, ² 東大・院理, ³ 岩手医大・医・解剖, ⁴ 岐阜聖徳大・教育, ⁵ 京大・院理, ⁶ 東北大・院・生命科学, ⁷ 鳥取大・院・生命科学, ⁸ 理研・CDB)	
3W7 第7会場(3階 313+314)	13:15-15:45 [J/E]
がん幹細胞研究の新展開：多様性と可塑性	
オーガナイザー：後藤 典子 (金沢大学がん進展制御研究所・分子病態研究分野) 北林 一生 (国立がん研究センター・造血腫瘍研究分野)	
3W7-1 (3P-0749)	[13:15]
p57を欠損させた白血病幹細胞はニッチ制御の変化によりがん遺伝子依存性となる	
武石 昭一郎 ¹ , 松本 有樹修 ¹ , 仲 一仁 ² , 平尾 敦 ² , 中山 敬一 ¹ (¹ 九大・生医研・分子医科学, ² 金沢大・がん研・遺伝子・染色体構築)	
3W7-2 (3P-0750)	[13:30]
がん幹細胞維持におけるアミノ酸代謝酵素の機能	
服部 鮎奈, 伊藤 貴浩 (ジョージア大・生化学&分子生物学)	
3W7-3 (3P-0751)	[13:45]
融合遺伝子による白血病幹細胞の制御機構	
鈴木 麻衣 ¹ , 山形 和恒 ¹ , 齋藤 眞理子 ¹ , 渡邊 利雄 ² , 北林 一生 ¹ (¹ 国立がん研・造血器腫瘍, ² 奈良女子大・人間文化研究・個体機能)	
3W7-4 (3P-0752)	[14:05]
The autocrine loop of TIM-3 and its ligand, galectin-9 is critical for maintenance of leukemia stem cell signature in acute myelogenous leukemia	
Yoshikane Kikushige ^{1,2} , Koichi Akashi ¹ (¹ Dept. of Med. and Bio. Sci., Univ. of Kyushu, ² JSPS)	
3W7-5 (3P-0753)	[14:25]
STAT3とアルギニンメチル基転移酵素PRMT5を介した新しい肺癌幹細胞様細胞の維持機構	
阿部 芳憲, 田中 信之 (日本医大・老人研・免疫)	
3W7-6 (3P-0754)	[14:40]
Meis1は表皮幹細胞の維持と化学発がん誘導皮膚腫瘍の発症において必須である	
若林 雄一 ¹ , 奥村 和弘 ¹ , 齋藤 慈 ¹ , 青戸 良賢 ² , 榊原 康文 ² , 木南 凌 ³ , 後飯塚 僚 ⁴ , 中村 卓郎 ⁵ , 磯貝 恵理子 ¹ (¹ 千葉県がんセンター・実験動物, ² 慶応義塾大学・理工学部・情報工学, ³ 新潟大学・医学部・遺伝子制御, ⁴ 東京理科大学・生命研, ⁵ がん研究所・発がん研究部)	
3W7-7 (3P-0755)	[14:55]
In vitro乳腺発がんモデルにおけるがん抑制遺伝子Rb, p53の機能とその作用機構の解析	
西本 裕希 ¹ , Salah Mohammed ¹ , 吉田 晶代 ¹ , 西内 巧 ² , 北嶋 俊輔 ¹ , 高橋 智聡 ¹ (¹ 金沢大学・がん進展制御研究所・腫瘍分子生物学, ² 金沢大学・学際科学実験センター・ゲノム機能解析分野)	

3W7-8 (3P-0756)

[15:10]

HER/NF κ B/IGF2/ループ経路の形成により、乳がん幹細胞とニッチは維持される

富永 香菜^{1,2}, 島村 徹平³, 金内 一⁴, 清水 誠一郎⁵, 西岡 琴江⁶, 辻 英一⁶, 下野 洋平⁷, 石井 秀始⁸, 佐谷 秀行⁹, 森 正樹³, 多田 敬一郎⁹, 小川 利久⁶, 東條 有伸¹, 宮野 悟³, 後藤 典子^{1,10} (¹東大・医科研・分子療法, ²東大・院医・JSPS, ³東大・医科研・DNA情報解析, ⁴公立昭和・乳腺内分泌外科, ⁵公立昭和・病理診断科, ⁶東大・乳腺内分泌外科, ⁷神戸大・院医, ⁸阪大・院医・消化器外科, ⁹慶應大・院医・先端医学科学研・遺伝子制御, ¹⁰金沢大・がん進展制御研・分子病態)

3W7-9 (3P-0757)

[15:25]

癌幹細胞において活性化されるCD44v-xCTを介した抗酸化システムを標的とする癌治療戦略

永野 修 (慶應大・医・先端研・遺伝子制御)

3W8 第8会場(3階 315)

13:15-15:45 [J/E]

個体で観るエピジェネティクスの最前線

オーガナイザー：近藤 隆 (神奈川科学技術アカデミー・健康アンチエイジング)
磯野 協一 (理研・IMS-RCAI)

Introduction

[13:15]

近藤 隆 (神奈川科学技術アカデミー・健康アンチエイジング)

3W8-1 (3P-0167)

[13:18]

Hox遺伝子コリニアリティーを支える分子メカニズム

磯野 協一, 公文 麻美, 古関 明彦 (理研・IMS-RCAI)

3W8-2 (3P-0168)

[13:38]

Role of H3.3 in mature sperm; Implications in transcriptional regulation in preimplantation embryos

牧野 吉倫¹, 朴 聖俊², 中井 謙太², 白髭 克彦¹, 岡田 由純¹ (¹東大・分生研, ²東大・医科研)

3W8-3 (3P-0169)

[13:58]

骨格筋分化能はヒストンH3バリエーションの取り込みによって制御される

原田 哲仁¹, 前原 一満¹, 佐藤 優子², 木村 宏², 大川 恭行¹ (¹九大・医院・エピジェネティクス, ²東工大・生命理工)

3W8-4 (3P-0170)

[14:13]

H4K20me1特異的細胞内抗体を用いた不活性X染色体動態の*in vivo* 解析

佐藤 優子, 木村 宏 (東工大・院生命理工学)

3W8-5 (3P-0171)

[14:28]

Smoking causes epigenetic change in humans

Akiko Isomoto¹, Hidetoshi Kitajima², Sahoko Ichihara³, Masahiro Nakatochi⁴, Tatsuaki Matsubara⁵, Mitsuhiro Yokota⁶, Ryoichi Takayanagi⁷, Ken Yamamoto⁸ (¹Division of Genomics, Medical Institute of Bioregulation, Univ. of Kyushu, ²Wellcome Trust Centre for Human Genetics, Univ. of Oxford, ³Grad. Sch. of Regional Innovation Studies, Univ. of Mie, ⁴Center for Advanced Medicine and Clinical Research, Nagoya Univ. Hospital, ⁵Dept. of Internal Medicine, Univ. of Aichi-Gakuin, Sch. of Dentistry, ⁶Dept. of Genome Science, Univ. of Aichi-Gakuin, Sch. of Dentistry, ⁷Dept. of Medicine and Bioregulatory Science, Grad. Sch. of Medical Sciences, Univ. of Kyushu, ⁸Dept. of Medical Chemistry, Sch. of Medicine, Univ. of Kurume)

3W8-6 (3P-0172)

[14:43]

体細胞クローンマウス精子のDNAメチル化リプログラミング

若井 拓哉¹, 水谷 英二², 小林 久人³, 若山 清香², 坂下 陽彦², 伊藤 隆司⁴, 三浦 史仁¹, 河野 友宏^{1,3} (¹東農大・バイオ, ²山梨大・生命工, ³東農大・ゲノム, ⁴九大・医学研究院)

3W8-7 (3P-0173)

[14:58]

神経幹細胞分裂におけるコンデンシンIとIIの役割

西出 賢次, 平野 達也 (理研)

3W8-8 (3P-0174)

[15:13]

エンハンサーの標的制御と染色体トポロジー：マウス隣接遺伝子群Tfap2c-Bmp7の分断と統括

辻村 太郎^{1,2}, Felix A. Klein³, Katja Langenfeld², Juliane Glaser², 高瀬 敦¹, Wolfgang Huber³, 菱川 慶一¹, Francois Spitz^{2,3} (¹東大病院・TE部・腎再生, ²Dev. Biol. Unit, EMBL Heidelberg, ³Genome Biol. Unit, EMBL Heidelberg)

3W8-9 (3P-0175) [15:28]
遺伝子発現調節の際の染色体高次構造形成における異性型PRC1の関与

 近藤 隆¹, 近藤 香¹, 古閑 明彦² (¹神奈川科学技術アカデミー・健康アンチエイジング, ²理研・統合医科学セ)

3W9 第9会場(4階 411+412) 13:15-15:45 [J]
植物細胞に眠るフロンティア：オルガネラ研究のすすめ

オーガナイザー：植村 知博 (東大・院理系・生物科学)

濱田 隆宏 (東大・院総合文化)

Introduction [13:15]

濱田 隆宏 (東大・院総合文化)

3W9-1 (3P-0333) [13:20]
植物におけるトランスゴルジネットワーク(TGN)の動態

 植村 知博¹, 中野 明彦^{1,2} (¹東大・院理系・生物科学, ²理研 光量子工学研究領域 ライセル分子イメージング研究チーム)

3W9-2 (3P-0334) [13:40]
植物ミトコンドリア形態を維持するミトコンドリア脂質代謝酵素の解析

 片山 健太^{1,2,3}, 清瀬 友規¹, 出村 政彬¹, 岡咲 洋三³, 藤岡(川本) 真理^{3,4}, 神田 雅子¹, 山下 寛子¹, 斉藤 和季⁵, 和田 元^{2,3}, 有村 慎一¹, 堤 伸浩¹ (¹東京大・院・農, ²東京大・院・理, ³東京大・院・総合文化, ⁴北大・院・医, ⁵理研・CSRS)

3W9-3 (3P-0335) [13:55]
植物表層微小管配向変化時における微小管切断の機能

 中村 匡良¹, Jelmer J. Lindeboom^{1,2}, Anneke Hibbel^{2,3}, Kostya Shundyak⁴, Ryan Gutierrez¹, Tijs Ketelaar², Anne Mie C. Emons², Bela M. Mulder^{2,4}, Viktor Kirik⁵, David W. Ehrhardt¹ (¹Dept. of Plant Biol., Carnegie Inst. for Sci., ²Lab. of Cell Biol., Wageningen Univ., ³MPI of Mol. Cell Biol. and Genetics, Dresden, ⁴FOM Inst. AMOLF, ⁵School of Biol. Sci., Illinois State Univ.)

3W9-4 (3P-0336) [14:10]
シロイヌナズナの葉の表・裏分化におけるAS2-AS1複合体と核小体の役割

 町田 泰則¹, 松村 葉子¹, 石橋 奈々子¹, 氣多 澄江², 小島 晶子², 町田 千代子² (¹名大・院理・生命, ²中部大・応用生物)

3W9-5 (3P-0337) [14:25]
GFP二量体化による人為的な膜の接着と、単量体化によって見えた真の液泡構造

瀬上 紹嗣, 牧野 沙知, 三宅 愛, 浅岡 真理子, 前島 正義 (名古屋大院・生命農)

3W9-6 (3P-0338) [14:40]
イネの雄性生殖器官発達におけるオートファジーの役割

 陶 文紀¹, 来須 孝光^{1,2,3}, 岡咲 洋三⁴, 二平 耕太郎¹, 花俣 繁^{1,5}, 小谷野 智子¹, 北畑 信隆¹, 永田 典子⁶, 斉藤 和季⁴, 朽津 和幸^{1,3} (¹東京理科大学・理工・応用生物科学, ²東京工科大・応用生物, ³東京理科大学・総合研究機構, ⁴理研・環境資源科学, ⁵東京大院・新領域・先端生命, ⁶日本女子大・理・物質生物科学)

3W9-7 (3P-0339) [14:55]
植物オルガネラ輸送における微小管の役割

濱田 隆宏 (東大・院総合文化)

3W9-8 (3P-0340) [15:15]
植物の細胞内膜系が支える生体防御戦略

西村 いくこ, 初谷 紀幸, 白川 一, 上田 晴子, 嶋田 知生 (京大・院理・生物科学)

総合討論 [13:55]
3W10 第10会場(4階 413) 13:15-15:45 [J/E]
細胞周期を通じた染色体恒常性制御機構のニューフロンティア

オーガナイザー：田中 耕三 (東北大・加齢研・分子腫瘍)

藤田 雅俊 (九州大学大学院薬学研究院)

Introduction [13:15]

田中 耕三 (東北大・加齢研・分子腫瘍)

3W10-1 (3P-0400)	[13:18]
染色体恒常性制御におけるDNAメチル化維持機構の役割	
西山 敦哉 ¹ , 山口 留奈 ¹ , 春田 真由美 ¹ , 城村 由和 ¹ , 島田 緑 ¹ , 古関 明彦 ² , 中西 真 ¹ (¹ 名市大・院医・細胞生化, ² 理研・横浜研・統合生命・免疫器官形成)	
3W10-2 (3P-0401)	[13:33]
ゲノムDNAの安定性に寄与する普段は見えないDNA合成	
夏目 豊彰 ¹ , 金原 良樹 ^{1,2} , 西村 浩平 ¹ , 鐘巻 将人 ^{1,2} (¹ 遺伝研・新分野創造センター, ² 総研大・遺伝学)	
3W10-3 (3P-0402)	[13:48]
効率的な染色体整列におけるKid及びCENP-Eの機能解析	
家村 顕自, 水野 夏紀, 小林 絹枝, 田中 耕三 (東北大加齢研・分子腫瘍)	
3W10-4 (3P-0403)	[14:03]
Checkpoint-dependent and -independent mechanisms of regulation of initiation of DNA replication by Mrc1 in fission yeast	
Seiji Matsumoto, Michie Shimamoto, Motoshi Hayano, Yutaka Kanoh, Kyosuke Ueda, Naoko Kakusho, Rino Fukatsu, Hisao Masai (Dept. of Genome Med., Tokyo Metrop. Inst. of Med. Sci.)	
3W10-5 (3P-0404)	[14:14]
GRWD1による核小体ストレス応答RP-MDM2-p53経路の制御	
嘉山 皓太 ¹ , 渡邊 心也 ¹ , 松本 雅記 ² , 中山 敬一 ² , 吉田 和真 ¹ , 杉本 のぞみ ¹ , 藤田 雅俊 ¹ (九州大学大学院・薬学府・医薬細胞生化化学分野, ² 九州大学・生体防御医学研究所・細胞機能制御学部門・分子医科学分野)	
3W10-6 (3P-0405)	[14:25]
テロメアやrDNAにおける組み換え複製中間体の蓄積はM期進行を阻害する	
上野 勝 ¹ , 中野 明美 ¹ , Waiyee Ng ² (¹ 広大・院先端・分子生命, ² 広大・工・3類)	
3W10-7 (3P-0406)	[14:36]
Esco1とPds5によるコヒーシンのアセチル化制御	
南野 雅 ¹ , 石橋 舞 ¹ , 中戸 隆一郎 ¹ , 須谷 尚史 ¹ , 田中 博志 ¹ , 加藤 由起 ¹ , 根岸 瑠美 ¹ , 広田 亨 ² , 坂東 優篤 ¹ , 白髭 克彦 ¹ (¹ 東大・分生研, ² 財団法人癌研究会)	
3W10-8 (3P-0407)	[14:47]
Human-Ana1: 娘中心小体から母中心小体への変換に必要な新規制御因子	
土屋 裕樹 ^{1,2} , 北川 大樹 ¹ (¹ 遺伝研・新分野創造センター・中心体生物学, ² 総研大・生命科学・遺伝)	
3W10-9 (3P-0408)	[14:58]
新規BRCA1/BARD1結合分子OLA1は中心体複製機構に関与する	
千葉 奈津子 ¹ , 菅野 新一郎 ² , 藤田 抜樹 ¹ , 安井 明 ² , 石岡 千加史 ³ , 松澤 綾子 ⁴ (¹ 東北大・加齢研・腫瘍生物学, ² 東北大・加齢研・加齢ゲノム, ³ 東北大・加齢研・臨床腫瘍学, ⁴ 東北大・加齢研・免疫遺伝子)	
3W10-10 (3P-0409)	[15:09]
PLK1依存的に活性化したLRRK1はCDK5RAP2をリン酸化することでスピンドル配向を制御する	
花房 洋 ¹ , 慶田城 迅 ¹ , 豊島 文子 ² , 松本 邦弘 ¹ (¹ 名大院・理, ² 京大・ウイルス研)	
3W10-11 (3P-0410)	[15:20]
マウス卵母細胞の減数第一分裂では正確な動原体-微小管結合が不安定化されやすい	
吉田 周平, 北島 智也 (理研・CDB)	
3W10-12 (3P-0411)	[15:31]
セバレーズ活性化における自己切断の意義	
進藤 軌久, 広田 亨 (公財)がん研究会がん研究所)	
Conclusion	[15:42]
藤田 雅俊 (九州大学大学院薬学研究院)	

3W11 第11会場(4階 414+415) 13:15-15:45 [J]

組織恒常性を維持する適者生存 -細胞の競合と協調-

オーガナイザー：倉永 英里奈 (理研CDB・組織形成ダイナミクス)
井垣 達史 (京大・生命・システム機能学)

Introduction [13:15]

井垣 達史 (京大・生命・システム機能学)

3W11-1 (3P-0509) [13:18]

上皮細胞競合を駆動する細胞認識機構の遺伝学的解析

井垣 達史^{1,2}, 大澤 志津江¹, 國政 啓¹, 山本 真寿¹ (京大・生命・システム機能学, ²JST さきがけ)

3W11-2 (3P-0510) [13:33]

腫瘍形成の第一段階：Tumor Hotspotにおける癌原細胞の頂端側からの層間剥離

田守 洋一郎¹, 鈴木 えみ子¹, Wu-Min Deng² (¹遺伝研, ²フロリダ州立大・生物学)

3W11-3 (3P-0511) [13:48]

がん関連因子Mycによる細胞競合はp53を介した代謝ステータスの変化により協調的に制御される

松田 七美 (早稲田大・先進理工・生命医科)

3W11-4 (3P-0512) [14:03]

細胞競合の数理モデル：分裂速度の差により生じる恒常性の破綻とその維持

坪井 有寿¹, 大澤 志津江², 井垣 達史², 藤本 仰一¹ (¹阪大・院理・生物科学, ²京大・生命科学)

3W11-5 (3P-0513) [14:18]

EDAC: Epithelial Defense Against Cancer

藤田 恭之, 梶田 美穂子, 昆 俊亮 (北大・遺制研・分子腫瘍)

3W11-6 (3P-0514) [14:36]

がん原遺伝子産物YAP依存的肝細胞消失を誘導する新規マウスモデルの確立

仁科 博史 (東京医歯大・難治研)

3W11-7 (3P-0515) [14:54]

細胞間の協調によるWnt/ β カテニンシグナルの制御

清水 誠之, 石谷 閑, 佐久間 恵, 石谷 太 (九大・生医研・細胞統御)

3W11-8 (3P-0516) [15:12]

ショウジョウバエとゼブラフィッシュで見いだされた、Plexinsの組織修復における祖先的機能

俞 史幹, Iswar Hariharan (UC-Berkeley)

3W11-9 (3P-0517) [15:27]

In vivo RNAi screening to identify the molecular mechanism underlying spontaneous competitive apoptosis in the Drosophila epidermis

倉永 英里奈 (理研CDB・組織形成ダイナミクス)

Conclusion [15:42]

倉永 英里奈 (理研CDB・組織形成ダイナミクス)

3W12 第12会場(4階 416+417) 13:15-15:45 [J]

脊椎動物の性分化分子機構

オーガナイザー：黒岩 麻里 (北大・理学研究院)
高田 修治 (成育セ・システム医学)

3W12-1 (3P-0610) [13:15]

ヒストン修飾エピゲノムと哺乳類の性決定制御

黒木 俊介¹, 馬場 翔子², 立花 誠¹ (¹徳島大学・疾患酵素学研究センター, ²京都大学・生命科学研究所)

3W12-2 (3P-0611) [13:35]

転写因子Six1/Six4は、マウス生殖腺形成と雄性分化を制御する

田中 聡¹, 藤本 由佳¹, 山口 泰華¹, 立花 誠², 金井 克晃³, 諸橋 憲一郎⁴, 川上 潔⁵, 西中村 隆一¹ (¹京大・発生研・腎臓発生, ²徳島大・酵素センター, ³東大・獣医解剖, ⁴九大・性差生物学, ⁵自治医大・分子病態治療研究センター)

3W12-3 (3P-0612) [13:50]

マウス胎子生殖腺のSRY依存のおよび非依存の精巢化において共通する分子経路

三浦 健人, 金井 克晃 (東大・獣医解剖学)

3W12-4 (3P-0613) [14:05]

SRY遺伝子をもたない哺乳類種の性決定メカニズム

黒岩 麻里 (北大・理学研究院)

3W12-5 (3P-0614) [14:25]

SOX9はオス生殖腺においてDhhの発現を直接制御する

山下 聡¹, 加藤 朋子², 山口 勝司³, 重信 秀治³, 乾 雅史², 高田 修治², 浅原 弘嗣¹ (東医歯大・システム医学,²成育セ・システム医学,³基生研・生物機能解析センター)

3W12-6 (3P-0615) [14:40]

マウス胎仔期雌性生殖腺分化に関わる転写因子・転写コファクターの機能解析

加藤 朋子¹, 原 聡史¹, 玉野 萌恵¹, 秋元 未来¹, 乾 雅史¹, 浅原 弘嗣^{1,2}, 高田 修治¹ (¹成育セ・システム医学,²東医歯大・システム医学)

3W12-7 (3P-0616) [15:00]

線維芽細胞増殖因子受容体(FGFR)シグナリングによる領域特異的なウォール管上皮細胞増殖の調節について

岡澤 美佳^{1,2}, 村嶋 亜紀¹, 原田 理代³, 木村 正², 山田 源¹ (¹和歌山県立医大・先端医学研・遺伝子制御学研究部,²大阪大学・院医・産科学婦人科学,³東京医科歯科大・臨床解剖学分野)

3W12-8 (3P-0617) [15:15]

ヒト性分化異常症の網羅的遺伝子変異解析

五十嵐 麻希¹, 今 雅史¹, 泉 陽子¹, 福井 (加藤) 由字子¹, 鈴木 江莉奈¹, 和田 友香¹, 宮戸 真美¹, 緒方 勤², 深見 真紀¹ (¹成育医療セ・分子内分泌,²浜松医大・小児科)

3W12-9 (3P-0618) [15:30]

Isolation and characterization of DMRT1-associated factors in *Xenopus* male gonads

Kazuko Fujitani¹, Asako Otomo², Yuto Nagayama⁴, Taro Tachibana⁴, Tomoko Kato³, Shuji Takada³, Rika Kato⁵, Yoshio Kodera¹, Nobuhiko Takamatsu¹, Michihiko Ito¹ (¹Dept. of Biosci., Sch. of Sci., Kitasato Univ., ²Dept. of Mol. Life Sci., Tokai Univ. Sch. of Med., ³Dept. of Systems BioMed., Ncchd, ⁴Dep. of Bioengineering, Grad. Sch. of Engineering, Osaka City Univ., ⁵Cent. For Disease Proteomics, Sch. of Sci., Kitasato Univ.)

3W13 第13会場(4階418) 13:15-15:45 [J/E]

Notchシグナル～その多様性と普遍性～

オーガナイザー：松野 健治 (大阪大学・大学院理学研究科)

北川 元生 (千葉大学・大学院医学研究科)

Introduction [13:15]

北川 元生 (千葉大学・大学院医学研究科)

3W13-1 (3P-0528) [13:17]

The function of novel ER modulating factor, Pecanex in Notch signaling

Tomoko Yamakawa, Shiori Kubo, Kenji Matsuno (Dept. of Biol., Grad. Sch. of Sci., Osaka Univ.)

3W13-2 (3P-0529) [13:31]

オートファジー制御関連分子BNIP3は表皮化ならびに表皮形態維持に重要な働きをする

宇田 純輝, 森山 麻里子, 早川 堯夫, 森山 博由 (近大・薬総研)

3W13-3 (3P-0530) [13:45]

Non-canonical NOTCH signaling activates ROCK to control cellular differentiation

Takashi Yugawa¹, Koichiro Nishino², Shin-ichi Ohno³, Tomomi Nakahara¹, Masatoshi Fujita⁴, Naoki Goshima⁵, Akihiro Umezawa³, Tohru Kiyono¹ (¹Div. of Virol., Natl. Cancer Ctr. Res. Inst., ²Dept. of Vet. Sci., Univ. of Miyazaki, ³Dept. of Reprod. Biol., Natl. Ctr. for Child Health and Dev., ⁴Dept. Cell. Biochem., Grad. Sch. Pharm. Sci., Kyushu Univ., ⁵Mol. Prfl. Res. Ctr., Natl. Inst. Adv. Ind. Sci. Tech.)

3W13-4 (3P-0531) [14:01]

マウス発生過程におけるNotchリガンドDll1の発現ダイナミクスの意義

下條 博美¹, 磯村 彰宏², 大塚 俊之², 宮地 均², 影山 龍一郎^{1,2} (¹京都大学・iCeMS, ²京都大学・ウイルス研究所)

3W13-5 (3P-0532)	[14:15]
ゼブラフィッシュ模様恒常性に関わる長距離でのDelta/Notchシグナルの働きとその伝達経路	
浜田 裕貴 ¹ , 渡邊 正勝 ^{1,2} , 近藤 滋 ^{1,2} (¹ 阪大・生命機能, ² CREST, JST)	
3W13-6 (3P-0533)	[14:31]
細胞外分泌タンパク質Tsukushiは神経および血管系から発現されることで脳神経幹細胞ニッチの制御に関与する	
伊藤 尚文, 伊藤 綾子, Athary Felemban, 新明 洋平, 田中 英明, 太田 訓正 (熊本大・院生命・神経分化)	
3W13-7 (3P-0534)	[14:45]
hedgehog-patched関連因子は食餌環境に応答した神経前駆細胞の活性化に介在する	
象 優彦, 福山 征光, 紺谷 園二, 堅田 利明 (東大・院薬・生理化学)	
3W13-8 (3P-0535)	[14:59]
低酸素状態下のヒト間葉系幹細胞維持機構におけるNotchシグナルの役割	
石原 慎 ¹ , 森山 麻里子 ¹ , 阪口 公一 ¹ , 大倉 華雪 ² , 松山 晃文 ² , 早川 堯夫 ¹ , 森山 博由 ¹ (¹ 近大・薬総研, ² 医薬基盤研究所 難病・疾患資源研究部)	
3W13-9 (3P-0536)	[15:13]
アダムス-オリバー症候群に関連するEOGT遺伝子変異はER型O-GlcNAc修飾の欠損を引き起こす	
小川 光貴 ^{1,2} , 河合 崇生 ¹ , 灘野 大太 ³ , 松田 幹 ³ , 矢木 宏和 ⁴ , 加藤 晃一 ^{4,5} , 古川 鋼一 ¹ , 岡島 徹也 ¹ (¹ 名古屋大・院医, ² 長浜バイオ大・バイオサイエンス, ³ 名古屋大・生命農学, ⁴ 名市大・院薬, ⁵ 自然科学研究機構統合バイオ)	
3W13-10 (3P-0537)	[15:27]
ヒト肝腫瘍由来EpCAM陽性が幹細胞におけるNotch経路活性化機構	
川口 和紀, 本多 政夫, 山下 太郎, 丹尾 幸樹, 岡田 光, 金子 周一 (金沢大・院医薬保・恒常性制御学)	
総合討論	[15:41]
<hr/>	
3W14 第14会場(4階 419)	13:15-15:45 [J]
多様なDNA損傷応答の統合制御機構	
オーガナイザー: 中田 慎一郎 (阪大・院医・細胞応答制御) 柴田 淳史 (群馬大学 先端科学研究指導者育成ユニット)	
Introduction	[13:15]
中田 慎一郎 (阪大・院医・細胞応答制御)	
3W14-1 (3P-0128)	[13:19]
ユビキチン依存性DNA二本鎖損傷応答シグナルとDNA修復	
中田 慎一郎, 中嶋 一祐, 加藤 希世子 (阪大・院医・細胞応答制御)	
3W14-2 (3P-0129)	[13:37]
HPB66は53BP1と結合し、相同組換え修復を促進する	
磯部 真也 ¹ , 長尾 恒治 ¹ , 木村 宏 ² , 小布施 力史 ¹ (¹ 北大・院先端生命・分子細胞生物, ² 東工大・院生命理工)	
3W14-3 (3P-0130)	[13:52]
DNA二本鎖切断修復経路を決定する分子メカニズム	
柴田 淳史 ¹ , ジェゴ ベニー ² , テイナー ジョン ³ , ベトリシ エレナ ⁴ , 中野 隆史 ⁵ (¹ 群馬大学 先端科学研究指導者育成ユニット, ² サセックス大学, ³ スクリプス研究所, ⁴ シエナ大学, ⁵ 群馬大学・院医・腫瘍放射線学)	
3W14-4 (3P-0131)	[14:10]
日本人ファンconi貧血患者における新規原因遺伝子UBE2Tの同定	
平 明日香 ¹ , 吉田 健一 ² , 佐藤 浩一 ⁵ , 嶋本 顕 ¹ , 田原 栄俊 ⁴ , 胡桃坂 仁志 ⁵ , 小川 誠司 ² , 高田 穰 ¹ , 矢部 晋正 ³ , 矢部 みはる ³ (¹ 京大・放生研・晩発, ² 京大・院医・腫瘍生物学, ³ 東海大・医学部付属病院・細胞移植再生医療科, ⁴ 広大・医歯薬保健健康学研究院・基礎生命科学部門, ⁵ 早稲田大・院先進理工学研究所)	
3W14-5 (3P-0132)	[14:25]
放射線感受性および各種発達異常を示す遺伝性疾患の新規責任遺伝子の同定と分子機能解析	
中沢 由華 ^{1,2} , 郭 朝万 ^{1,2} , 嶋田 蘭子 ^{1,2} , 宮崎 仁美 ^{1,2} , 唐田 清伸 ^{1,2} , 荻 朋男 ^{1,2} (¹ 長大・NRGIC, ² 長大・原研分子)	

3W14-6 (3P-0133)	[14:40]
DNA損傷応答および染色体安定性維持におけるH2AXの役割	
島田 絳, 五島 隆宏, 中西 真 (名市大・院医・細胞生化)	
3W14-7 (3P-0134)	[14:58]
出生後の酸素に富む環境はDNA損傷応答を介して新生児の心筋細胞での細胞周期停止を誘導する	
木村 航, Puente Bao, Sadek Hesham (UT Southwestern)	
3W14-8 (3P-0135)	[15:13]
DSBに応答して、白血病関連遺伝子ENL/MLL1はPolycombと共に転写の抑制を制御する	
宇井 彩子, 永浦 裕子, 安井 明 (東北大学 加齢医学研究所)	
3W14-9 (3P-0136)	[15:28]
テロメアでの細胞周期依存的なDNA損傷反応・DNA修復の制御機構	
小西 昭充 ¹ , 和泉 孝志 ¹ , Titia de Lange ² (¹ 群大・院医・生化学, ² ロックフェラー大)	
Conclusion	[15:43]
柴田 淳史 (群馬大学 先端科学研究指導者育成ユニット)	

3W15 第15会場(5階501)	13:15-15:45 [J]
クロマチン・染色体・細胞核のダイナミクス	
オーガナイザー: 菊池 裕 (広島大学) 佐渡 敬 (近畿大学)	
3W15-1 (3P-0311)	[13:15]
マウスおよびニワトリ初期胚でのクロマチン再プログラム化による5mCから5hmCへの変換制御	
多田 政子 (鳥大・染色体工学研究センター)	
3W15-2 (3P-0312)	[13:35]
発生過程や刺激に応答した転写活性化とヒストン修飾の動態	
木村 宏 ^{1,2} , スタセビッチ ティモシー ^{2,3} , 佐藤 優子 ^{1,2} (¹ 東工大・生命理工, ² 大阪大学・生命機能, ³ コロラド州立大・生化学分子生物)	
3W15-3 (3P-0313)	[13:55]
四肢発生過程における染色体高次構造形成を介した遺伝子発現調節機構	
武藤 彰彦 ¹ , 池田 晋吾 ¹ , Lopez-Burks Martha ² , 菊池 裕 ¹ , Calof Anne ³ , Lander Arthur ² , Schilling Thomas ² (¹ 広島大・院理・生物科学, ² Dept. of Dev. & Cell Biol., Univ. of California, Irvine, ³ Dept. Anatomy & Neurobiol., Univ. of California, Irvine)	
3W15-4 (3P-0314)	[14:09]
マウス受精卵における前核形成の時間制御機構	
大杉 美穂 ^{1,2} , 添田 翔 ^{1,2,3} (¹ 東大・院総合文化・広域科学, ² 東大・院理・生物化学, ³ 学振・特別研究員)	
3W15-5 (3P-0315)	[14:29]
分裂酵母サブテロメアのクロマチン高次構造: 脱凝縮したサイレント領域と凝縮した隣接領域	
松田 厚志 ^{1,2} , 木村 宏 ³ , 原口 徳子 ^{1,2} , 平岡 泰 ^{1,2} (¹ 情報通信研・未来ICT, ² 阪大・生命機能, ³ 東工大・生命理工)	
3W15-6 (3P-0316)	[14:43]
減数分裂期コヒーシスは線虫のRNAi 関連のヘテロクロマチン化に必要である	
田原 浩昭 ¹ , 三谷 昌平 ² , 永田 恭介 ¹ (¹ 筑波大・医学医療系, ² 東京女子医科大)	
3W15-7 (3P-0317)	[14:57]
Rif1がつくるクロマチン構造と多能性幹細胞における機能	
吉沢 直子 ¹ , 小野 富男 ² , 山崎 聡志 ¹ , 進藤 真由美 ² , 西藤 泰昌 ² , 正井 久雄 ¹ (¹ 東京都医学総合研究所・ゲノム医学分野・ゲノム動態プロジェクト, ² 東京都医学総合研究所・基盤技術研究センター)	
3W15-8 (3P-0318)	[15:11]
核内ゲノム高次構造の発生制御	
平谷 伊智朗 ^{1,2} (¹ 理研・CDB, ² JST・さきがけ)	

3W15-9 (3P-0319)	[15:25]
HP1結合タンパク質の解析によるヘテロクロマチンの構造と機能の理解	
小布施 力史 (北大・先端生命)	
3W16 第16会場(5階 502)	13:15-15:45 [J]
代謝恒常性の変容と生活習慣病	
オーガナイザー：尾池 雄一 (熊本大学大学院生命科学研究部医学系分子遺伝学) 真鍋 一郎 (東京大学大学院医学研究科循環器内科)	
Introduction	[13:15]
尾池 雄一 ¹ , 真鍋 一郎 ² (¹ 熊本大学大学院生命科学研究部医学系分子遺伝学, ² 東京大学大学院医学研究科循環器内科)	
3W16-1 (3P-0820)	[13:20]
ヒト多能性幹細胞からの褐色脂肪細胞分化誘導	
佐伯 久美子 ^{1,2} , 西尾 美和子 ¹ , 湯尾 明 ¹ (¹ 国立国際医セ研・疾患制御, ² 科技振・さきがけ)	
3W16-2 (3P-0821)	[13:40]
Foxo1 CoRepressor(FCoR)は、Arx遺伝子のエピゲノム調節により、β細胞からα細胞への変換を抑制する	
小谷 紀子 ¹ , 中江 淳 ¹ , 大平 理沙 ¹ , 川野 義長 ¹ , 菊地 徹洋 ¹ , 松崎 素子 ¹ , 後藤 伸子 ¹ , 近藤 文子 ¹ , 北村 忠弘 ² , 伊藤 裕 ¹ (¹ 慶應義塾大学医学部腎臓内分泌代謝内科, ² 群馬大学生体調節研究所代謝シグナル研究展開センター)	
3W16-3 (3P-0822)	[13:55]
SIRT7による糖脂質代謝制御機構	
山縣 和也, 吉澤 達也 (熊大・院生命・病態生化学)	
3W16-4 (3P-0823)	[14:15]
レチノイン酸関連オーファン核内受容体RORγは日中における肝臓の糖新生とインシュリン感受性を調節する	
武田 行正 ^{1,2} , Kang Hong Soon ¹ , Freudenberg Johannes ² , DeGraff Laura ¹ , Jothi Raja ² , Jetten Anton ¹ (¹ 米国国立環境健康科学研究所・細胞生物, ² 米国国立環境健康科学研究所・システム生物, ³ 理研・筑波・分子遺伝)	
3W16-5 (3P-0824)	[14:30]
マイクロRNA-33は、生体内においてSREBP-1を介して脂肪酸代謝を制御する	
西野 共達, 堀江 貴裕, 馬場 理, 桑原 康秀, 中尾 哲史, 西賀 雅隆, 宇佐美 俊輔, 出原 正康, 中関 典子, 井手 裕也, 小山 智史, 曾和尚也, 木村 剛, 尾野 亘 (京大・医・循環器内科)	
3W16-6 (3P-0825)	[14:45]
生活習慣病の基盤となる免疫細胞の細胞代謝-機能連関	
大石 由美子 (東京医科歯科大・難研・細胞分子医学)	
3W16-7 (3P-0826)	[15:00]
PPARβ/δはCD300aの活性化を介して腸管免疫を制御する	
田中 十志也 ¹ , 田原 聡子 ² , Jiang Shuying ² , 内藤 真 ³ , 渋谷 彰 ² , 児玉 龍彦 ¹ , 酒井 寿郎 ¹ (¹ 東大・先端研・システム生物, ² 筑波大・医学医療・免疫, ³ 新潟大・院・分子細胞病理, ⁴ 東大・先端研・代謝医学)	
3W16-8 (3P-0827)	[15:15]
Roles of IKKβ in fibrosis	
Dat Nguyen-tien ¹ , Masako Kishihata ¹ , Megumi Nishio ² , Kaeko Kamei ³ , Kenji Kabashima ⁴ , Yoshiki Miyachi ⁴ , Takeshi Kimura ¹ , Masayuki Yokode ² , Noboru Ashida ¹ (¹ Dept. of Cardiovascular Med., Grad. Sch. of Med., Kyoto Univ., ² Dept. of Clinical Innovative Med., Inst. for Adv. of Clinical and Translational Sci., Kyoto Univ. Hospital, ³ Dept. of Biomolecular Engineering, Kyoto Inst. of Tech., ⁴ Dept. of Dermatology, Grad. Sch. of Med., Kyoto Univ.)	
3W16-9 (3P-0828)	[15:30]
リン酸化プロテオミクス解析から明らかになった新規mTORC1-FOXK1-CCL2 経路と腫瘍関連炎症との関連	
中津海 洋一 ¹ , 松本 雅記 ² , 中山 敬一 ¹ (¹ 九大・生医研・分子医科学分野, ² 九大・生医研・プロテオミクス分野)	

3W18 第18会場(5階 511+512)

13:15-15:45 [J]

「食」と「カラダ」の相互作用：メタゲノミクスからニュートリゲノミクスまで

オーガナイザー：山田 拓司 (東京工業大学)
矢作 直也 (筑波大学)

Contributors for Organizing this Session:
奥田 修二郎 (新潟大学)
松本 道宏 (国立国際医療センター研究所)

3W18-1 (3P-0941)

[13:15]

大規模なヒト腸内フローラのメタゲノム解析による大腸がんの病因解明と先制医療の可能性

谷内田 真一¹, 中島 健³, 山田 拓司² (¹国立がん研究センター・研究所, ²東工大・生命理工・院生命理工学, ³国立がん研究センター・中央病院)

3W18-2 (3P-0942)

[13:35]

バブアニューギニア高地人の低タンパク適応と腸内細菌

梅崎 昌裕¹, 須田 互¹, 猪飼 桂², 森田 彩子¹, 冨塚 江利子¹, 夏原 和美⁴, 田所 聖志¹, 馬場 淳⁶, 小谷 真吾³, 内藤 裕一¹, Paul Horwood⁵, Andrew Greenhill⁵, Peter Siba⁵, 服部 正平¹ (¹東京大学, ²長崎大学, ³千葉大学, ⁴日本赤十字秋田看護大学, ⁵バブアニューギニア医学研究所, ⁶東京外国語大学)

3W18-3 (3P-0943)

[13:55]

Multi-faceted omics evaluation of the effect of Wolfberry (*Lycium barbarum*) supplementation as a novel dietary intervention in optimal IBD management

Wanping Aw^{1,2}, Huijuan Jia¹, Shinji Fukuda², Manaka Hanate¹, Masaru Tomita², Hisanori Kato¹ (¹Corporate Sponsored Research Program, Food for Life, Organization for Interdisciplinary Research Projects, Univ. of Tokyo, ²Institute for Advanced Biosciences, Keio Univ.)

3W18-4 (3P-0944)

[14:05]

***Bifidobacterium breve* Yakult株によるガラクトオリゴ糖代謝における基質特異性**

重久 晃, 外谷 英嗣, 佐藤 隆, 松木 隆広 ((株)ヤクルト本社 中央研究所)

3W18-5 (3P-0945)

[14:15]

ヒト腸内細菌叢解析のためのバスウェイデータベース構築

奥田 修二郎¹, 佃 直紀², 山本 希², 西本 悠一郎², 高橋 知紀², 森 宙史², 黒川 顕³, 守屋 勇樹^{4,5}, 五斗 進⁴, 山田 拓司² (¹新潟大・院医歯学, ²東工大・生命理工, ³東工大・地球生命研, ⁴京大・化研, ⁵ライフサイエンス統合データベースセンター)

3W18-6 (3P-0946)

[14:25]

腸内細菌代謝物スカトールは肝臓でのCyp7a1の発現と糞中二次胆汁酸増加を誘導する

野勢 琢馬¹, 清水 英寿¹, 萩尾 真人², 吹谷 智¹, 横田 篤¹, 原 博¹, 石塚 敏¹ (¹北大・院農, ²東洋大・生命)

3W18-7 (3P-0947)

[14:35]

軽微な胆汁酸経口負荷による肝脂質蓄積と脂質代謝関連遺伝子の変動

辻 美咲¹, 吉次 玲香¹, 菊地 慧大¹, 野勢 琢馬¹, 多田 幸司¹, 清水 英寿¹, Jayoung Lee¹, 馬場 菜那子¹, 萩尾 真人², 吹矢 智¹, 横田 篤¹, 原 博¹, 石塚 敏¹ (¹北大・院農・応用生物科学, ²東洋大・生命科学)

3W18-8 (3P-0948)

[14:45]

食物繊維由来の短鎖脂肪酸によるエピゲノム修飾を介した制御性T細胞の誘導

古澤 之裕^{1,2,3}, 尾畑 佑樹^{2,3,4}, 福田 真嗣^{3,5}, 大野 博司^{3,4}, 長谷 耕二^{1,2,3} (¹慶應・院・薬, ²東大・医科研, ³理研・統合生命, ⁴千葉大・院・医, ⁵慶應・先端生命)

3W18-9 (3P-0949)

[15:00]

ヒストンアセチル化酵素GCN5はCITED2依存的に基質指向性を変化させ肝臓の糖新生を制御する

松本 道宏, 酒井 真志人 (国立国際医療研究センター研究所・分子代謝制御研究部)

3W18-10 (3P-0950)

[15:15]

mTORシグナル伝達系による翻訳因子4E-BPを介したエネルギー代謝制御

森田 斉弘¹, Ivan Topisirovic², Nahum Sonenberg¹ (¹Dept. of Biochem. and Goodman Cancer Research Centre, McGill Univ., ²LDI for Medical Research, SMBD-Jewish General Hospital and Dept. of Oncology, McGill Univ.)

3W18-11 (3P-0951)

[15:30]

摂食タイミング異常による肝臓概日時計の異常と脂質代謝異常

小田 裕昭¹, 片岡 裕太郎¹, 小林 悟¹, 望月 聡² (¹名大・院生命農・栄養生化学, ²大分大・教育福祉)